

中岳



平成22年度 社団法人熊本市歯科医師会臨時総会
平成22年度 社団法人熊本市歯科医師会代議員会

特集 150号記念号



熊本市歯科医師会会誌

第150号

目 次

巻頭言	古川 猛士 常務理事	1
平成22年度 社団法人熊本市歯科医師会臨時総会		2
平成22年度 社団法人熊本市歯科医師会代議員会		4
中岳150号特集 平成10年3月号～		6
	第15代会長 関 剛一	
	第16代会長 古賀 明	
	第17代会長 清村 正弥	
	常務理事 蔵田 幸一	
思い出の一コマ (100号～150号)		10
歯っぴーキッズ		12
さわやか大学校講座		13
2010歯の祭典		14
講演会アンケート結果		18
新入会員対象オリエンテーション開催		19
ビアパーティ		20
スタッフレベルアップセミナー		22
日本歯科医療管理学会・九州支部第6回研修セミナー		25
医療連携セミナー「形成外科ときず」		26
活発に意見交換 ～三歯会～		28
第1回学術講演会「歯科領域における薬物の使い方」		30
第2回学術講演会「高齢者の義歯とケア」		32
国立病院機構熊本医療センターとの協議会		34
第31回熊本市学校保健合同研修会		35
歯磨き巡回指導 (前期)		36
スタディー 歯科用レーザーについて	関 光輝	38
新人紹介		42
スポーツの広場		43
会務報告		44
総会資料		46
編集後記		

表紙のことば

朝1番機で東京より帰るとき着陸態勢の中、こっそり撮った写真です。飛行機の窓越しなので少し霞んでいますが阿蘇五岳が朝もやに霞み素晴らしい景観でした。

Y.T

巻 頭 言

伝え続けて150号

150号を迎える中岳



古川猛士 常務理事

熊本市歯科医師会会誌「中岳」が今号を持って150号を数えます。季刊誌であるから単純に計算して年4回、150に達するまで37年と半年経過したことになります。私が入会したのが昭和63年、「中岳」という愛称がついたのがその一年後ちょうど節目の平成元年、中根執行部の時の65号からとなります。入会してすぐに広報委員の末席を汚してきましたが、記念となる100号を迎える蔵田理事の時期だけは義父、義母の看病で暇をもらっていたためにタッチすることができませんでした。その後、古賀会長の時にいきなり広報担当理事を拝命し、市歯会創立70周年記念誌に携わることになり、大いに頭を悩ませたことはいい思い出であります。

季刊誌という性格上、新しい情報に即応することはできませんが、それを補うために「かわら版」を月報の形で出すようにしたのは寺脇理事でありました。

会館の移転新築の折も様々な情報が交錯しましたが、取捨選択しながら、広報活動の大切さを改めて思い知ったことでした。

あれやこれやと3期も広報理事として過ごしてくるとやはりマンネリとなってきます。いかにページを開いてもらうか、これこそが広報誌の第一義と思い腐心してきましたが、如何せん自分の編集力も頭打ちとなります。まず手に取り興味を持ってもらうことが永遠の課題となりました。

いまはまた、公益法人改革への対応、また熊本市の政令市へ移行することの対応など、市歯会も新しい方向性を見つめていくことが大切になると思いますが、対外的あるいは会員向けに今ある姿を伝えていくことは、広報の仕事としていずれも重要な仕事であります。とりあえず、少し昔を思い返して次の200号へのステップとしていきましょう。

平成21年度 決算等を承認

——平成22年度 社団法人熊本市歯科医師会 臨時総会——

6月29日（火）午後7時30分より県歯科医師会館3階市歯会議室にて平成22年度社団法人熊本市歯科医師会臨時総会が開催された。



1. 開会 古川 猛士常務理事
2. 議長及び副議長選出
議長 矢毛石 豊先生
副議長 片山 晃紀先生
3. 議事録署名人選出
濱坂 上先生
鯨川 正和先生
4. 物故会員に対する黙祷
前田 茂先生
5. 会長挨拶
清村 正弥会長

【要旨】

みなさまこんばんは。本日は足下の悪い中お集りいただきありがとうございます。前回の通常総会より3ヶ月、早いものですが内閣総理大臣も変わり世の中もめまぐるしく変わっております。その中で歯科医師会はどうあるべきか、どう変わって行くべきかを考えるしだいであります。

先日熊本医師会総会にゲストとして招かれ、たくさんの先生方と話ができました。医師の先生方も昨今の診療報酬改正にかなりの危機感をもっておられました。我々歯科医師に5年前、10年前に起こっていたことが医師の先生にも起ころうとしています。

また、熊本市では区割りの話題で盛り上がっていますが、我々歯科医師会としては区の名前

よりも、区割りと歯科医師会支部の整合性をどう取るかの方が大事でございます。市議会の先生と話をしましてもそういった情報が全くと言っていいほど出て来ません。

我々の会が将来どうなるのか、本日会員の皆様と考へて行ければと思います。

会員の先生方には忌憚なき意見をお願いできればと思います。本日はどうぞ皆様よろしく御願ひします。

6. 報告

- 会務報告 渡辺 猛士専務理事
- 庶務報告 古川 猛士常務理事
- 会計現状報告 蔵田 幸一常務理事
- 監査報告 合澤 康生監事

（質問）

Q) 歯の祭典が上通からウエルパル熊本に変わったがいきさつは？12年間苦勞して上通でやってきた意義は？我々会員の意思なのか？

（中央支部 菅原先生）

A) 上通で12年間やってきたが、通りすがりの人をつかまえて広く浅くより今回は目的を持った人に深く掘り下げて話をするようにしてみた。長く続いたのでマンネリ化もみられる。熊本北署の方も人の足をじっくり止めるようなイベントは許可がありません。理事会で議論して決めまして、会報等で告知はしていましたがわかりにくかった所も

あると思います。(執行部)

Q) 医道委員会で入会者2名となっているが、理事会で入会を承認するのでそこは入会申込者2名と表記すべきではないか？(南部支部 関先生)

A) その通りです。表記を訂正しておきます(執行部)

7. 代議員会審議経過報告

三笥 司 代議員会議長

8. 議事

第1号議案 平成21年度熊本市歯科医師会一般会計収入支出決算の承認を求むる件

第2号議案 平成21年度熊本市歯科医師会収益事業会計収入支出決算の承認を求むる件

第3号議案 平成21年度熊本市歯科医師会慰金制度会計収入支出決算の承認を求むる件

第4号議案 平成21年度熊本市歯科医師会退職積立金会計収入支出決算の承認を求むる件

第5号議案 平成21年度特別会計熊本市歯科医師会新規2事業会計決算の承認を求むる件

第6号議案 平成21年度熊本市歯科医師会基本財産積立金会計決算の承認を求むる件

第1号議案から第6号議案まで全て承認可決されました。



9. 協議

Q) ネットスパート導入による経費削減の効果は？また有効な活用法の説明会等は開催されますか？(中央支部 秋山先生)

A) ネットスパートの目的は郵送物を減らすこ

とではなく、急なお知らせが必要な時に安価で早く会員の皆さんに情報を送ることです。今まではFネコで送っていましたが、1回につき7500円ほどかかっていました。今はそれがなくなっています。

説明会については、各支部や会員の皆様の要望が多ければ、会の方で開催することも検討します。(執行部)

○公益法人改革への対応

資金的にみた事業内容の仕分けと、新しい定款の調整、この2点を現在進めている。来年の7月ぐらいには県庁に必要書類提出予定。

○入会金について

県歯→年会費に組み込んで見た目上は無い様な形にしている。

市歯→県歯同様にできないかと依頼はあったが今と同じような形を維持する。

入会金を下げると会の運営に支障がでる。しかし、実際は市歯でも長期分割で納入されている先生方もいる。

○本会の今後の会計展望について

本会の資産は、基本財産の積立金+繰り越し金で8,000万円ほどあります。新法人移行後は公益目的にしか使えなくなります。今後は5年に分けて公益目的に支出する予定です。本会の単年度収支はトントンぐらいです。この予算に8,000万円の5分の1、1,600万円を組み込みますと毎年その分だけプールできます。公益目的として計上されその後余った資金には税金がかかりますので、5年で再度8,000万円のプールをし直す事が出来ます。

3年程たって4,800万ほどたまった時には、歯科医師会としても入会金の長期分割等も考えています。

○その他

町村合併その後について

植木町、城南町の先生は来年度より熊本市に移る予定。

熊本市の区割りとし市歯科医師会の市部割りが違うが、当面は今の12支部で行く予定。将来的には修正が必要と考えます。

10. 閉会

藤波 好文 副会長

(広報 鯉川正和)

21年度決算等を協議 一代議員会一

平成22年度 社団法人熊本市歯科医師会 代議員会

6月28日（月）午後7時30分から県歯会館3階市歯会議室にて標記代議員会が開催され、昨年度決算等に関する議事、法人改革等に関する協議が行われました。



1. 点呼 古川 猛士常務理事

2. 議長及び副議長

議長 三笥 司先生（北部1）

副議長 宮本 浩幸先生（東部4）

3. 開会

4. 議事録署名人選出

上原 凡由先生（東部2）

西口 和弘先生（東部3）

5. 会長挨拶 清村 正弥会長

お忙しい中御出席いただきありがとうございます。公益法人の法律に基づいて総会が、決算が締まったのち2ヶ月以内に行われるために、本代議員会も昨年からこの時期に開催しております。昨年度の決算に関する各議案のご審議よろしくお願いいたします。さらに、数件の協議題が挙がっております。執行部よりご説明させていただくとともに、活発な御議論をお願いします。

6. 報告

1) 会務報告 渡辺 猛士専務理事

2) 庶務報告 古川 猛士常務理事

3) 会計現況報告 蔵田 幸一常務理事

4) 監査報告 奥儀 実彦監事

北部1) 歯の祭典の開催場所を上通からウェルパル熊本に変更された理由は？

執行部) 例年上通で行っていましたが、通りすがりのかただけではなく、目的を持って来ていただける場所で一度やって

みようとしてみました。800名からの方が来場されました。そして皆さん質問が真剣でした。特に矯正のブースでは1日中並んでおられました。また、箱ものにした結果、設備経費が安くなりました。

北部1) わかりました。一方、通りすがりの方々も歯科でなにかやっていると感じてもらふことで、自分の口腔内に関心を持たれるという面もあると思いますので検討していただくとうれしいです。

執行部) 参考にさせていただきます。ありがとうございます。

東部1) 会員が亡くなられた時に、密葬などの理由から会が後日認識した場合、供花などどうされていますか？

執行部) 原則的には先生方から1,500円集めさせていただき、供花し、残額を現金でお渡しするが、供花のタイミングをのがした場合はすべて現金でお渡ししている。

7. 議事

第1号議案 平成21年度熊本市歯科医師会一般会計収入支出決算の承認を求むる件

第2号議案 平成21年度熊本市歯科医師会収

- 益事業会計収入支出決算の承認を求むる件
- 第3号議案 平成21年度熊本市歯科医師弔慰金制度会計収入支出決算の承認を求むる件
- 第4号議案 平成21年度熊本市歯科医師会退職積立金会計収入支出決算の承認を求むる件
- 第5号議案 平成21年度特別会計熊本市歯科医師会新規2事業会計決算の承認を求むる件
- 第6号議案 平成21年度熊本市歯科医師会基本財産積立金会計決算の承認を求むる件
- 監査報告の後全議案可決承認されました

8. 協議

1. 公益法人改革への対応

(執行部) 特別委員会の答申に沿って本会は一般法人へむけて準備をし、来年7月に最終提出する予定です。現在、新定款のたたき台を県庁に提出しており、明後日その返事をいただくことになっています。同時に施行規則の検討も行っているところです。

2. 入会金について

(東部4) 現状の入会金で特に新卒間もない若い先生が入会することは、今の歯科界の状況から考えても大きな負担となるのではないかと考えています。

(執行部) 入会金は会収入の2割をしめており、なければ運営できません。しかしながら未入会対策との兼ね合いから、長期払いの導入など検討を以前より説明させていただいているところです。仮に、入会者が極端に少なくなる状況となれば金額を上げざるを得ないのでないかと考えています。

(会長) 県歯は入会金を下げること検討中で、未入会者のための対策です。他県ではそれを下げて入会者が増え、郡市会もさげる所が出ています。ただ、本県の場合、県歯の入会金は比較的安く、毎月の会費が

比較的高く設定されているため、市歯とは会計上の違いがありますので、そこを含めた検討が必要となります。

現在の熊本市内の未入会者は60数名であり、新卒の先生よりむしろ現在の未入会対策が必要と考えています。

3. 本会の今後の会計展望について

(執行部) 一般社団法人へ移行する際に基本財産の5千5百万円と毎年的一般会計の2千数百万円を合わせた8千万円弱を5年程かけて公益支出に振り分けていくことを考えています。ここ数年一般会計は収入と支出がほぼ同額で推移しています。これに1千6百万を毎年5年間繰り入れてもそのまま余ることになります。これまでの行政の説明ではその額に対し3割程度課税されると聞いていましたが、実は最近の説明ではそれには課税はされないと返事をいただいています。そのためこの方針でやれると考えています。

4. その他

(執行部) 市町村合併で、植木町の先生方との話しあいを行いました。鹿本郡市で役員をされている先生もおられるため、本会への入会は来年度からとなる見込みです。城南町との話しあいはこれから行います。両町を含め、支部割りも検討中です。

(会長) 新定款における支部割りが現在のままでよいのかについて、熊本市が5区に分けられますが、それぞれの区で健康施策が異なったりしないのかという問い合わせをおこなっています。まだ正式な回答はありません。それを待って支部の確定をいたします。

9. 閉会 稲葉 逸郎副会長

追記 閉会後、藤波副会長より、参議院選で1,722名の支援者獲得の報告がありました。

(広報 前川研二)

中岳150号特集 平成10年3月号～

今回の150号という節目の刊行になった『中岳』ですが、平成10年3月号（100号）から今月号までの12年間の会の歩みとこの間の歴代会長のコメントを、また100号発刊時の担当理事でありました蔵田常務理事にも当時の中岳への思いなどを投稿いただき、掲載いたします。

中岳「150号」発刊にあたり

第15代会長 関 剛一



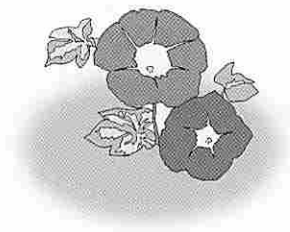
昭和44年7月第1号発刊から会員の皆様の情報誌として親しまれて来ました本会会誌も150号発刊となり、この41年間、会誌発刊に御苦労された広報担当の理事、委員の皆様に心より感謝申し上げます。

本会誌は本会の事業を確実に敏速に会員の先生方に報告すると共に、医療情報、歯科臨床発表、会員及び家族との楽しい厚生事業、又先生方の趣味のコーナーと多彩にわたり掲載されております。私が保存している会誌は第40号からですが、各号保存出来る様にと当時よりバインダーを作製したのを憶えています。

今当時の会誌を改めて目を通してみますと懐かしい事業内容、懐かしい会員の先生方の写真、当時の新入会員の先生方、会員の訃報、ゴルフのスコア等々記憶が当時にもどって

いきます。本会誌を通じて本会の過去の出来事を噛みしめながら現在を見据えそしてこれからの自分（歯科医師会）の将来の展望を改めて考えるのはとても必要な事であると思えてなりません。

会誌を発刊される理事、委員の先生方、原稿依頼作製はては校正にと大変御苦労されると思いますが、年4回の発刊を我々会員は心待しております。今後尚一層の広報活動の御発展をお祈り申し上げます。



「中岳」発行第150号おめでとう

第16代会長 古賀 明



この度熊本市歯科医師会の機関紙「中岳」が第150号を迎えるにあたりお祝いを述べると共にこれまで携さわれた歴代の広報担当理事及び広報委員の皆様方に深く感謝申し上げます。

聞く所によりますと昭和44年8月から熊本市歯科医師会会誌として発行され名称が「中岳」に変わったのは第65号からという事です。中岳は私にとって殆んど興味の無いものでした。多くの会員の皆様はどうでしょうか。私の読む所は最後付近のゴルフのページだけでした。しかし専務職に就いてからこの中岳の校正をしなければならなくなり、必然的に全てのページに目を通さなければならなくなりました。又、第16代の会長として平成15年4月から21年3月まで2期6年間執行にあたり中岳の第122号から144号までの発行責任者として直接携さわる事となりました。

それからは特に巻頭言、代議員会、総会での会長挨拶そして自分の興味のあった会員の投稿記事に特に目を通したつもりです。

今改めて思い浮かべるとこの「中岳」は会員の診療所、関連各団体機関にも送付されます。ある時私の挨拶の中で誤解を招く発言があり、問題を引き起こそうとした事もありました。又、本会創立70周年記念事業で仏厳寺住職故高千穂正史氏に基調講演をお願いし、その後記念誌を作る事となり、故高千穂氏は自分の講演を記事にするのがお嫌い、一言一句まちがえない様記事にしますのでと約束して了解を取った為に当時の広報委員会（古川理事、広田、前川、山本、谷脇、篠原、船津委員）には記念誌を作るにあたり、かなりのご苦勞、勞力時間を費やす事となりました。

又、在宅選任歯科衛生士本田志保子氏が急性の白血病に冒され亡くなられた後に、本田歯科衛生士の特集を作ってくれと頼んだ時も快よく引き受けてもらい感謝しております。彼女はこの仕事を天職と私に言いきり、静養するよりも仕事を続けたいと涙ながらに訴えました。本田さんのご家族にはこの点が今だにご理解頂けないのは残念ですが。又、この在宅訪問診療のシンポジウムに演者としてお呼びしたのが当時広島県歯科医師会常務理事の石井みどり先生でした。その時以来熊本市は石井みどり先生とは深いかかわり合いを持ちますが、その後参議院議員になられるとは夢にも思いませんでした。

又、会員の投稿記事の中で思い出すのが元島博信先生の「私と源氏物語」奥田良樹先生の「ウルトラ100Kマラソン」、有働秀一先生の「小旅行」です。私とは大ちがいの趣味でしたので特に印象深く記憶に残っております。

それから「中岳」の題字は歴代会長の自筆となっております。私は字を書くのがとても下手で会長になって一番気になっていた所です。私の代の題字は当時の合沢副会長にひな型を三種類書いてもらい、それを上からなぞったものです。この様に後々に読み返すと大変懐かしく楽しい思い出が湧き上がってまいります。私にとってかけがえのない「中岳」になっている事を今改めて思い知らされました。

最後に本会唯一の機関紙と同時に記録誌でもあります。何かと制限もありますが、広報委員会の方々には本会の為、会員の為にますますよりよい「中岳」を発行すべく頑張ってください。私は心より応援致します。

中岳「150号」に寄せて

第17代会長 清村 正弥



「中岳」は本号にて150号の節目を迎えます。年4回発行される本誌が、数えてその号に達するには、38年を要します。

38年前といえば、1972年（昭和47年）。本会の中には、まだ生まれていないよ、という先生もいらっしゃいます。この年の保険点数改訂は何と+13.7%でした。しかも差額徴収制度があった時代です。歯科を取り巻く環境は、今日とは全く異なっており、当時の歯科界は、今日のそれとは別世界の話に思えます。

そのように世の中が大きく変動してきた中でも、本会の果たすべき社会的責務を継続して全うして来られた歴代執行部の先生方、また本会の有り様をその都度写真と文章で記録

していただいた広報委員会の先生方、さらには本会業務にご協力いただいた会員の先生方。そのすべてのお力添えを以ちまして、今日の150号があることを改めて実感いたします。

そして将来。さらに「中岳」が継続して200号、250号を迎えるときがやってくるでしょう。果たして、私は生きてそれを読むことができるものか。全く自信がありませんが、もしそういう次の節目の「中岳」を手にすることができたら、今日のこの日をとても懐かしく思い返すことでしょう。「あの頃は楽しかった」、と言えるよう残された任期に全力であたりますので、よろしくお願いします。

開催

二〇〇三（平成一五）

- 熊本市地域歯科治療連携推進研修会
- 古賀 明会長新執行部

二〇〇四（平成一六）

- 一・五才児フッ素塗布事業を会員歯科診療所にて開始

二〇〇五（平成一七）

- 長寿の里歯科診療所閉所（一九九三）

- 在宅ねたきり者等歯科保健推進事業終了
- 熊本市妊婦歯科健康診査事業委託開始

二〇〇六（平成一八）

- 新歯科医師会館完成、市歯会事務局移転
- 鳥インフルエンザ発生対策

- 日曜祝日昼間当番医制度開始
- 熊本市介護予防事業参入

二〇〇七（平成一九）

- 県歯科医師会一〇〇周年式典
- 第一回口腔ケア研修会

二〇〇八（平成二〇）

- 市歯会会員相互による代診制度改定
- 市民向け広報「歯っぴー通信」発行

- 役員任期変更（三年→二年）
- 熊本市医専連二〇周年記念シンポジウム主催「お薬と歯科」

二〇〇九（平成二一）

- 会員発表会

- 清村正弥会長新執行部
- 公益法人改革に伴う新規二事業

- 共済制度廃止、弔慰金制度新設

二〇一〇（平成二二）

- 中岳一五〇号発刊

中岳「150号」に寄せて

第17代会長 清村 正弥



「中岳」は本号にて150号の節目を迎えます。年4回発行される本誌が、数えてその号に達するには、38年を要します。

38年前といえば、1972年（昭和47年）。本会の中には、まだ生まれていないよ、という先生もいらっしゃる。この年の保険点数改訂は何と+13.7%でした。しかも差額徴収制度があった時代です。歯科を取り巻く環境は、今日とは全く異なっており、当時の歯科界は、今日のそれとは別世界の話に思えます。

そのように世の中が大きく変動してきた中でも、本会の果たすべき社会的責務を継続して全うして来られた歴代執行部の先生方、また本会の有り様をその都度写真と文章で記録

していただいた広報委員会の先生方、さらには本会業務にご協力いただいていた会員の先生方。そのすべてのお力添えを以ちまして、今日の150号があることを改めて実感いたします。

そして将来。さらに「中岳」が継続して200号、250号を迎えるときがやってくるでしょう。果たして、私は生きてそれを読むことができるものか。全く自信がありませんが、もしそういう次の節目の「中岳」を手にすることができたら、今日のこの日をととても懐かしく思い返すことでしょう。「あの頃は楽しかった」、と言えるよう残された任期に全力にあたりますので、よろしくお願いします。

関して厚生労働大臣表彰を受け、祝賀会開催

二〇〇三（平成一五）

- 熊本市地域歯科治療診療連携推進研修会
- 古賀 明会長新執行部

二〇〇四（平成一六）

- 一・五才児フッ素塗布事業を会員歯科診療所にて開始

二〇〇五（平成一七）

- 長寿の里歯科診療所閉所（一九九三）

- 在宅ねたきり者等歯科保健推進事業終了
- 熊本市妊婦歯科健康診査事業委託開始

二〇〇六（平成一八）

- 新歯科医師会館完成、市歯会事務局移転
- 鳥インフルエンザ発生対策

- 日曜祝日昼間当番医制度開始
- 熊本市介護予防事業参入

二〇〇七（平成一九）

- 県歯科医師会一〇〇周年式典
- 第一回口腔ケア研修会

二〇〇八（平成二〇）

- 市歯会会員相互による代診制度改定
- 市民向け広報「歯っぴー通信」発行

- 役員任期変更（三年→二年）
- 熊本市医専連二〇周年記念シンポジウム主催「お薬と歯科」

二〇〇九（平成二一）

- 会員発表会
- 清村正弥会長新執行部

- 公益法人改革に伴う新規二事業
- 共済制度廃止、弔慰金制度新設

二〇一〇（平成二二）

- 中岳一五〇号発刊

中岳150号発刊によせて

常務理事 蔵田 幸一



中岳150号おめでとうございます。私も元広報として中岳作成に携わった1人です。中岳というタイトルの第1号は熊本市歯科医師会会誌通算65号だったと記憶しています。この時から広報委員として故寺脇博理事の下で2期6年、その後理事として2期6年、合計4期12年中岳作成に関わりました。その中の1回に100号があります。当時100号記念として特集を組みました。歴代会長の若い時の写真を引っ張りだして掲載したのを覚えております。又、その時作成しながら150号はいつ

頃かなと思っていました。12年半も前の事です。時が経つのは早いものでもうその時がきました。今後も年4回のペースで広報理事を中心に作成されると思います。先づは200号を目指して1号1号積み重ねていって頂きたいと思います。これからのご活躍をお祈り致します。



熊本市歯科医師会の歩み

- 一九九八(平成一〇)
 - 市歯会誌「中岳」一〇〇号
 - 市歯ホームページ開設
 - 第二二回市歯科医師会親睦大会
 - 「第一回ピアパーティー」
 - 定款、会計機構の改定
- 一九九九(平成一一)
 - 入会金改正
 - (三〇〇万円→一五〇万円)
- 二〇〇〇(平成一二)
 - 熊本市歯科医学大会
 - 関 剛一会長第二次新執行部
 - 市歯科医師会七〇周年記念式典開催
- 二〇〇一(平成一三)
 - 市歯会主催 第一回上通
 - 『歯の祭典』開催
 - 在宅寝たきり老人等歯科保健推進事業に
関して県知事表彰を受ける。
- 二〇〇二(平成一四)
 - 在宅寝たきり老人等歯科保健推進事業に



100号 (1998年)

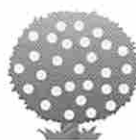
中岳150号発刊によせて

常務理事 蔵田 幸一



中岳150号おめでとうございます。私も元広報として中岳作成に携わった1人です。中岳というタイトルの第1号は熊本市歯科医師会会誌通算65号だったと記憶しています。この時から広報委員として故寺脇博理事の下で2期6年、その後理事として2期6年、合計4期12年中岳作成に関わりました。その中の1回に100号があります。当時100号記念として特集を組みました。歴代会長の若い時の写真を引っ張りだして掲載したのを覚えております。又、その時作成しながら150号はいつ

頃かなと思っていました。12年半も前の事です。時が経つのは早いものでもうその時がきました。今後も年4回のペースで広報理事を中心に作成されると思います。先づは200号を目指して1号1号積み重ねていって頂きたいと思います。これからのご活躍をお祈り致します。



熊本市歯科医師会の歩み

一九九八(平成一〇)

■市歯会誌「中岳」一〇〇号

■市歯ホームページ開設

■第二二回市歯科医師会親睦大会

■「第一回ビアパーティー」

■定款、会計機構の改定

一九九九(平成一一)

■入会金改正

(三〇〇万円→一五〇万円)

二〇〇〇(平成一二)

■熊本市歯科医学大会

■関 剛一会長第二次新執行部

■市歯科医師会七〇周年記念式典開催

二〇〇一(平成一三)

■市歯会主催 第一回上通

■「歯の祭典」開催

■在宅寝たきり老人等歯科保健推進事業に
関して県知事表彰を受ける。

二〇〇二(平成一四)

■在宅寝たきり老人等歯科保健推進事業に
関して厚生労働大臣表彰を受け、祝賀会



100号(1998年)

100号～150号までの

思い出の1コマ

市歯事務局改修工事終了

市歯事務局改修工事終了に伴い、市歯事務局（市歯会館）に開設。4階は市民会館入り、5階は保健衛生局歯科医務課の改修工事完了後に移す予定です。



昔の事務局



関執行部（2000年）



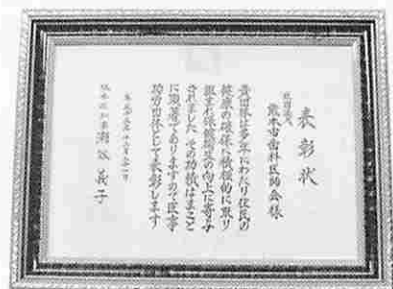
第1回ビアパーティ（1998年）



70周年記念祝賀会（2000年）



106号（1999年）



県知事表彰（2001年）



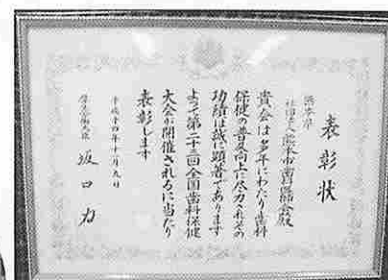
110号（2000年）



114号（2001年）



第1回「歯の祭典」（2001年）



厚生労働大臣表彰（2002年）



古賀執行部 (2003年)



122号 (2003年)



126号 (2004年)



長寿の里診療所開所 (2005年)



新会館完成 (2006年)



138号 (2007年)



対外広報誌
(2008年)



会長室 (2006年)



橘俊光先生寄贈 (2006年)



事務局〈現在〉
(2006年)



(2010年)



142号 (2008年)



134号 (2006年)



清村執行部 (2009年)

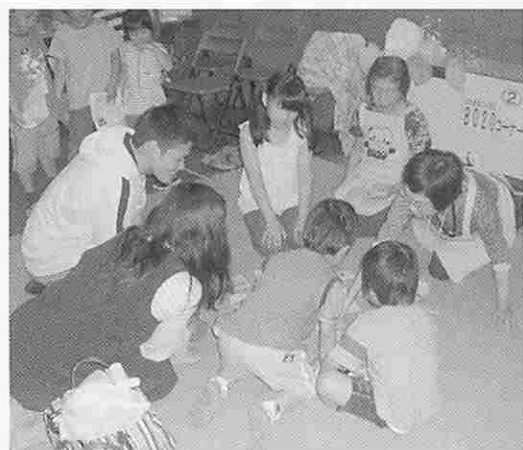
雨ニモ負ケズ大盛況

～歯の衛生週間イベント・歯っぴーキッズ～

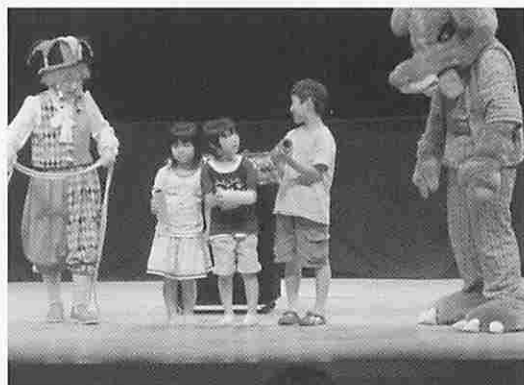


5月23日（日）、新町の子ども文化会館において「歯っぴーキッズ」イベントが開催され、地域保健委員会が出務して参りましたのでご報告いたします。

内訳をみると、幼児164人（男71人、女93人）、小学生60人（男26人、女34人）、大人147人（男性43人、女性104人）でした。



正午過ぎからのオリエンテーションの後、午後1時より開場となり歯科相談の開始。合間に2回ほどのぬいぐるみ人形ショーを挟みつつも、蓋を開けてみれば相談者数は総数371人にのぼり、大盛況となりました。



当日はあいにくの雨。出足が心配されるところにもかかわらず、これだけの市民が訪れたのは、やはり毎年恒例となって市民に浸透した成果ではないかと考えられます。

また、市歯科医師会と、行政が一体となってこのような市民啓蒙活動を行うことは、今後も継続していく価値があるものと思われます。

（地域保健 山部耕一郎）

『めざそう8020』

さわやか大学校講座

6月17日（木）熊本県総合福祉センターにて熊本さわやか大学校講座が開催された。大学では1年間で毎週木曜合計40回の講義が行われるが、その1コマの講義に地域保健委員会より私、有働が出務し「めざそう8020」の題目で講義を行った。

受講生は108名で年齢層は60歳代の方から最高齢で83歳の方まで受講された。

「80歳で20本以上残す」事を目標に、残存歯をできるだけ保存し、自分の歯を残すことでいかに健康を保てるかという事を強調し講義に入った。今回は歯周病と義歯、また要介護者を抱える方に口腔ケアの必要性・その実際についての内容に限定した。

歯周病

まず歯周病の原因、歯垢が歯周組織へ及ぼす影響、歯周病と全身疾患（基礎疾患）との関係、予防のための正しい歯磨き方法（歯ブラシのサイズ、動かし方等）について述べた。特に歯垢・歯石除去は歯周検査後、歯肉の状態次第で数カ月の通院がかかるが頑張って通院することが健康な状態維持につながるとした。

義歯

続いて義歯の話に移り、口腔内での噛みあわ

せが最重要で、新義歯装着後も噛み合わせの調整を定期的に行う事が大切とした。特に義歯の手入れ法・流水下で専用ブラシを用いての洗浄方法、義歯の取り扱いについて納得してもらうまで説明した。

口腔ケア

口腔ケアにおいては、周りの要介護者・長期入院されている方に対し、その必要性・ケアの実際について、特に「誤嚥・口腔乾燥」をクローズアップし原因と対策について述べ、口腔ケアを行った効果として、感染予防、口腔・全身機能の維持回復からADLの改善・QOLの向上につながり、ひいては介護されている方の負担の軽減になるとした。

最後に受講生全員で誤嚥防止の体操を実践した。途中、質疑応答の時間を充分にとり、歯間ブラシの使用法・顎関節症の治療法・予防法、舌痛症に関する多くの質問を受け、できるだけ噛み砕いて説明した。

受講生のみなさんに真剣に最後まで講義を聞いていただき、今後もこのような一般の方向けの講演会を続けていく事で、広く「8020運動」を認識してもらう事は有意義であると考えてる。

（地域保健 有働秀一）





『2010』

平成22年歯



『2010 歯の祭典』 平成22年歯の衛生週間

熊本市歯科医師会の最大イベントである、『2010歯の祭典』が6月6日(日)ウェルパル熊本にて開催されました。

これまで、上通アーケードで行われてきた本イベントですが、今回は屋内施設に場所を移して行われました。また、新たな試みとして、従来の活動内容に加えて市民を対象とした講演会を行いました。

開催場所・構成内容などに変更があったため、来場者数の減少が懸念されましたが、開始時刻前よりたくさんの方にご来場いただき、イベントは大盛況に終わりました。来場者のほとんどの方が、歯やお口の健康に関心を示し、目的を持って会場に足を運んでいらっしゃるため、各コーナーにて熱心に相談をされ、先生方の話しに聞き入っていたのが印象的でした。

イベントの集計結果は15ページの通りですが、昨年と比較すると、総来場者数はやや少なくなったものの、小児歯科コー



歯の祭典』

の衛生週間



ナーにて昨年の43名から58名、矯正歯科コーナーは40名から69名とむしろ増加しており、他のコーナーにおいても昨年の来場者数とほぼ同等といっているものでした。今回の数字は我々の予想を大きく上回るものであり、今後に繋がる非常に意義のある結果であったように思われます。

また、午前中に宮本格尚先生による「歯から始まる健康と長寿」について、午後からは逢坂亘彦先生に「間違いだらけ？むし歯予防」という演題についてご講演をいただきました。両先生には、当方の不手際により、イベント開催直前になって講演をお願いしたにも関わらずご快諾いただき、また内容の濃いお話を寄与していただき、感謝いたしております。受講された皆様からは、別紙アンケート（講演会に対するご意見など）の如く、たいへん好評を得ておりました。

最後になりますが、清村会長をはじめ各理事の先生方には、今年も健診から雑用までご尽力いただきありがとうございます。来年以降も、市歯科医師会として、より良い啓発の活動を目指していきたいと考えます。

（地域保健 二宮 康郎）



平成22年度 歯の衛生週間 ウェルパルクまもと来場者数

	コーナー名	来場者数
1	歯の何でも相談コーナー (口腔外科相談コーナー含)	57名
2	無料矯正相談コーナー	69名
3	小児歯科コーナー	64名
4	歯科衛生士会コーナー	246名
5	口腔介護コーナー	52名
6	口臭測定コーナー	111名
7	歯科技工士会コーナー (石膏人形色めり含)	218名
8	熊本歯科衛生士専門学院紹介コーナー	23名
9	熊本市8020健康づくりの会	20名
10	フッ素洗口体験コーナー	200名
11	おもちゃくじコーナー	407名
12	講演会	106名



「歯から始まる健康と長寿」

～えっ！こんな症状。悩みも「あご」からくるの？～

宮本 格尚

皆さんは、どんな時に歯科医院へ足を運ばれますか？多くの方が、「歯が痛い」「歯がしみる」「虫歯になった」「歯が欠けた」「歯がぐらつく」「歯ぐきから出血する」「歯石とり」「欠損した歯を作りこむ」……といった症状を自覚してからではないでしょうか。これらの多くは、歯科の2大疾患と言われる「う蝕」と「歯周病」に起因するものです。どちらも細菌が引き起こす感染症ですので、言い換えると口の中に常在する細菌をいかに減らしてコントロールしていくかということに治療の重きが置かれてきました。ところが、最近の研究で、歯はそれ以外にも大切な役割を担っている事がわかってきました。特に、本日はかみ合わせと全身の密接な関係についてお話したいと思います。

日本人は世界一の長寿を手に入れました。しかし、その中身を見てみると、「健康で長寿」とはなかなか行かない部分があるようです。健康食品や健康グッズの売れ行きがものすごい伸びを見せている事からも健康志向の高まりを感じさせられます。言い換えると、それだけ何らかの症状に悩まされている人が多いと言う事でしょう。

日本人の3人に1人は不定愁訴と呼ばれる色々な症状を持ち、「頭痛」「肩や首のこり」「腰痛」「背中の痛み」「手足のしびれ」「便秘」「生理痛」「不眠」「うつ」「顔や姿勢のゆがみ」などに悩まされていると報告されています。このような方々は、色々な検査を受けても原因がはっきりせず、「自律神経失調症」「更年期障害」などと言われて多くの方が我慢を強いられている場合が多いようです。薬を飲んでも、それは症状を緩和させるための対症療法の場合が多く、なかなか完治には至らないようです。薬には副作用がありますので、それを消すための新たな薬を飲み、またその副作用のための…と言って、毎日非常に多くの薬を処方されている場合があります。日本は世界でも群を抜いて飲んでいる薬の量が多いと聞きます。この現状を皆さんはどう考えられるでしょうか。

さらに最近ではこれらの症状が弱年齢化し、学童期の子供たちにも上記のような大人顔負けの愁訴を持っている子が増え、それは驚きと共に不登校などの現在の教育現場が抱える問題とも連動しているのではと考えさせられます。これらの症状が、歯から来ている事があると言うと、皆様驚かれるでしょうか？私はかみ合わせの研究を重ねる中で、全身健康の維持、回復に歯が非常に大きな役割を果たしていることを日々痛感しております。歯科が皆さんの健康に益々貢献できる時代が来たと確信しております。

心と体は密接な関わりがあります。体が健康でなければ、決して気力は湧いて来ません。本日は短い時間ですが、講演とデモンストレーションを通して皆様の健康増進のお役に立てればと思っています。



乳幼児期のより良い健康を目指して

小児歯科専門医 逢坂亘彦

8020運動の目標である「自分の歯で一生噛もう」を達成するためには予防や治療は言うに及ばず、生活習慣の確立、口腔内環境の整備などが大切な事は言うまでもありません。むし菌が無く、きれいな菌並みの子供を育てるためには乳幼児期からの対応が非常に重要となります。

近年、むし菌の発症率は低下していますが、平成20年度1歳6か月児健康診断の結果において、熊本市のむし菌の保有者率は約4.7%で、熊本県のむし菌の保有者率は4.3%（全国最下位）、全国平均の約2.66%と比べて高率です。熊本市の場合、むし菌の約半分が母乳によるものです。でも卒乳は2歳頃にしなさい。母乳ではむし菌にはならないのだから好きなだけ飲ましても大丈夫と言われていました。しかしむし菌ができる子供がいるのも事実です。どちらを信じればいいのでしょうか。

今回は、はじめにむし菌の成り立ちについては、ブラークの形成と脱灰、再石灰化の話をしました。

次に母乳とむし菌の関係について、ミュータンス連鎖球菌はショ糖を分解して酸を作るので、母乳中に含まれる乳糖は分解できない、だから齲蝕にならない。いまだにこのような事を信じている人がいますが、現在、齲蝕の原因となるブラークは多くの菌の集合体であるバイオフィームという考え方が浸透しています。これに基づくミュータンス連鎖球菌と乳糖を分解して酸を作る乳酸桿菌が同じバイオフィームの中に存在してもなんの不思議も有りません。Lawrenceはその著書「授乳－医療従事者のためのガイド・第6版・2005年」の中で『生まれてから1年を過ぎても、一晩中授乳することは特に危

険である。』と述べています。また井手有三らは「1歳6か月児における授乳状況からみた齲蝕罹患に関する研究・小児歯科学雑誌・43号・2005年」の中で『授乳状況のいかに関わらず、口腔衛生状態が良好であれば齲蝕罹患傾向は低くなる。齲蝕罹患率は卒乳が1歳3か月以前は極めて低い1歳4か月を過ぎると増加する。』と述べています。歯科医師は1歳6か月児健康診断の時、卒乳の遅れによる齲蝕を発見した時には強く断乳を指導することが重要であると話しました。

また、むし菌の感染については、指導の時むし菌菌はお母さんやお祖母さんからうつるから、口に含んだものをあげてはいけない、食器を分ける必要があるとよく話をしますが、それでよいのでしょうか。国立予防研究所の花田先生はその著書（もうむし菌にはならない・新潮HO文庫）の中で『大事な子どもにむし菌菌をうつしたくなければ、まず、お母さんが自分の歯をきれいにすることから始めなければなりません。またむし菌菌が最も感染し易いのは生後18か月～30か月のわずか1年間に過ぎないということも明らかになってきています。』と述べています。このことや他の研究結果から、子供にむし菌菌を移さないためには、父母や主たる養育者の口腔内をきれいにすることが大切と話しました。

子供の歯磨きについては、大変なので歯磨は上の前歯が生えてからしましょう。3歳まではこどもが騒ぐので十分な歯磨きができません。しかし歯磨きが十分にできないのにむし菌ができることもとそうでないこどもが居る。これは歯磨きより食生活の方が強い影響を及ぼす。2歳を過ぎると母親の方が磨くと大騒ぎするが、父親が磨くとおとなしくさせるのは子供が母親の気を引くためにやっているのでしょうか。時期が来れば騒がなくなるので、気長に歯磨きを続けてくださいと話した。

最後に小児歯科医の思いとして、我々は身を削って、患者さんの健康を守ろうとしています。そして患者さんとは仲良くやっとうとを考えています。そのために努力をしています。お互いに半歩ずつ歩み寄って垣根を取りより深い信頼関係を作り上げようではないですか。病気は医者だけ、患者さんだけが頑張っても良くなりません。お互いが協力し病気を克服しましょう。ただし子供の場合はお母さんや他の保護者の方の協力が無ければできません。と話し講演を終了した。

【講 演 会】(第1部)「歯から始まる健康と長寿」 講師：宮本格尚 先生

●アンケート(講演会に対するご意見など)

- 歯医者さんでバランスの大切さをお聞きし大変勉強になりました。
- 咬合の大切さ(正しい咬合)「咬む」ことの体への影響よくわかりました。全身に不調が多いので、咬合をみてもらおうと思いました。
- わずかなあごの歪みが体勢や体調に大きな影響を与えることに驚いた。咬合の大切さがよくわかりました。咬合治療についてよくわかりました。ありがとうございました。
- あごの話はとても参考になりました。ありがとうございました。
- 歯はむし歯と歯肉炎だけ気をつけていたらよいと思っていたが、全身状態の基盤だということがわかった。
- とても参考になりました。そういえば右側をむいて寝てることが多い。
- 大変内容のある分かり易い先生の講演会でした。
- 大変いいお話でした。もう少しPRして多くの方に聞いていただきたかったです。
- 珍しいアゴの役割について勉強になりました。
- 肩こり、首のこりが、咬み合わせの治療で治せるなら……！
- 噛むことの大切さをあらためて実感しました。全身の健康を見直す良い機会になりました。噛み合わせに注目してみます。
- かみ合わせのすごさが分かりました。
- 大変興味深く聞けました。わかりやすかったです。
- かみ合わせのすごさが分かりました。大切なことがよくわかりました。ありがとうございます。
- むし歯や歯周病の話ではなく、顎位という話で、新鮮な感じがしてとてもおもしろかった。大変ためになるお話でした。あごの位置の大切さ、自覚していきたいです。参加者が少なく残念でした。
- とても勉強になりました。ありがとうございました。最近の子供に体の歪みが多いとおっしゃっていましたが、最近の子供の顎が小さくなっているのとも関係しているのかな？と思いました。全身を見て治療する大切さを実感できました。
- 先生のお話は構成がしっかりしてとても分かりやすかったです。動きまで話が及びテンションがあがりました。健康は自ら努力して勝ち取るものであるは名言ですね！
- 食べるときかみ合わせが悪いと顔が歪んだり、姿勢が悪くなったりすることが分かったので歯は全てのことに繋がるので、とても大事だということが分かりました。これから気を付けようと思いました。1回の食事で全くかんでいないことに気付いたので、今日から改めたいと思いました。

【講 演 会】(第2部)「間違いだらけ？むし歯予防」 講師：逢坂亘彦 先生

●アンケート(講演会に対するご意見など)

- 非常に分かりやすい講演だった。子どものむし歯予防をしっかり行っていきたい。
- 子どもが小さいので、むし歯予防のお話はとても参考になったし、気になっていたことが解決できてよかった。
- 4ヶ月の娘がいるので、むし歯について、授乳についていろいろお話が聞けてよかった。
- 聞く人が少ないようだった。
- 改めてお話を伺い、勉強になった。
- よかった。もっとたくさんの人にきいてほしいと思った。
- 子どもの歯磨きや普段の生活で、子どもの気持ちと行動が具体的に分かって「なるほどねー」と分かった。
- 大変ためになった。
- 母乳とむし歯に関する情報が具体的でおもしろかった。
- 子どもと一緒に来たのでゆっくり聞けなかった。すみません。
- とても勉強になった。資料もとても見やすく、先生の話がとても分かりやすかったので聞いていて頭に入りやすかった。
- 母乳は母親が子に与えるのが当たり前だと思っていたが、自分も親になったとき、また身内が母になったときは気をつけようと思った。
- 母乳とむし歯のお話はとても興味深く聞かせていただいた。おしゃべりのお話も驚きだった。
- とても分かりやすい講演会だった。
- むし歯の成り立ちや母乳とむし歯の関係など改めて勉強になった。また、機会があったら逢坂先生のご講演をお聞きしたい。
- 大変楽しく講演を聴くことができた。今後役に立てていきたいと思う。
- とても分かりやすく勉強になった。
- むし歯と母乳の関係などについてわかりやすく知ることができた。
- むし歯に関する話は、あまりにも複雑な要素が多すぎるようだった。要は口の中のケア？
- 分かりやすい説明で、講演時間も1時間程度でよかったと思う。
- 4～5才まで時折母乳を飲み、むし歯が多く、母に連れられて歯科医院に行った記憶がよみがえって来た。乳幼児の教育に役立つ話だった。
- 勉強になった。
- 今回、貴重な講演があると聞き参加した。とても勉強になった。(福岡県の歯科医師)

新入会員対象オリエンテーション開催

7月3日（土）午後4時から熊本県歯科医師会館3F会議室にて「新入会員対象オリエンテーション」が、5名の新入会員の先生方の参加のもと開催されました。

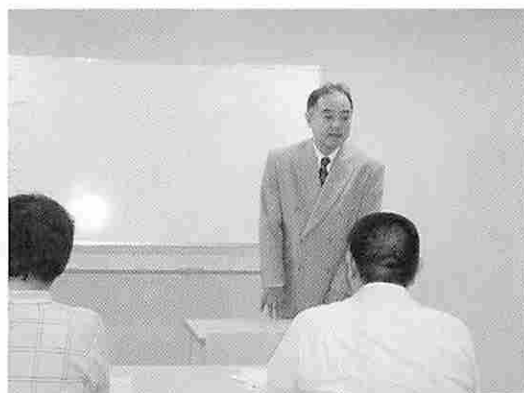
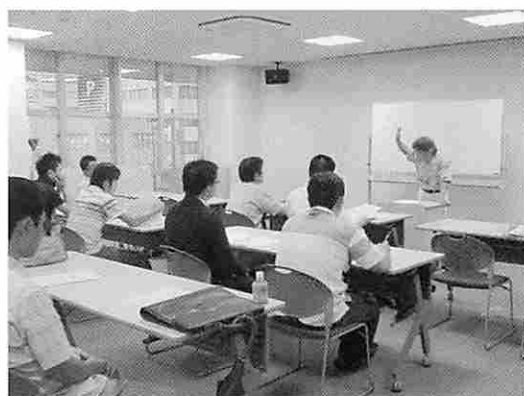
初めに清村正弥会長より新入会員の先生方に、最近では以前に比べレセプトの審査や個別指導の対応が難しくなっている事や医療相談が増えている事のお話をまじえながら御挨拶がありました。

次に「医療相談、苦情について」藤波好文副会長よりお話がありました。最近寄せられた苦情、相談等について具体的な事例を挙げられて説明して頂きました。もしトラブルになりそうな時は歯科医師会にすぐに相談する様、心強いお言葉を述べられました。

次に社保説明が井口泰治副委員長よりありました。個別指導の際も特に指摘を受けやすいP治療の流れと補綴治療の関係についての説明を中心に詳しく解説されました。

次に最近の個別指導の現場での話を金本良久委員長がされ、注意点などを詳しく解説されました。

最後に稲葉逸郎副会長の閉会の辞が述べられ閉会となりました。



(社保 渡辺 洋)

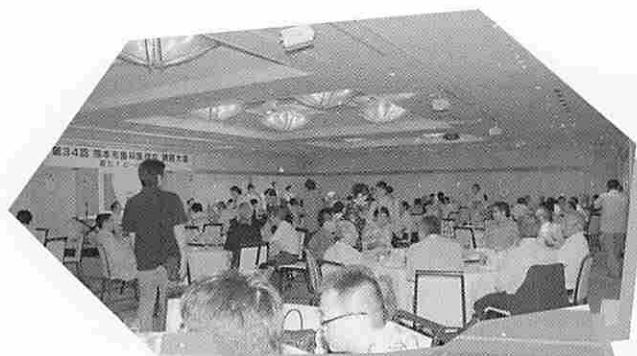
2010 夏だ！

第34回

毎年恒例の親睦ビアパーティーが7月3日（土）午後6時30分よりホテルニューオータニにて開催されました。今回で34回を迎えますが、あいにくの雨にもかかわらず多くの先生方に参加をいただき、例年以上の盛り上がりとなりました。

まず初めに清村正弥市歯会長の挨拶の後、来賓としてお迎えしました、浦田健二県歯会長、渡辺賢治県歯専務理事によりご祝辞を頂きました。また、今回は第22回参議院議員選挙の1週間前ということもあり、歯科医療再生のためにと「西村まさみ」さんへのご支援・ご協力をお願いされました。続いて、平成21年7月～平成22年5月までの新入会員6名の先生方の紹介の後、熊本市前会長の古賀明先生による乾杯の御発声で開催となりました。

まもなくして、今回のメインイベント「出-



ビールだ！

熊本市歯科医師会親睦大会

「IZR」(イズル)のメンバーによる生演奏が始まりました。このメンバーは津軽三味線とシンセサイザーによる和と洋のコラボレーションユニットで、とても2名での演奏とは思えないくらい迫力と躍動感にあふれる演奏で、会場全体が盛り上がりました。恒例のビンゴ大会では、持ち運びがなく手ぶらで帰っていただけるよう、クジ引きでの抽選会となりました。

まだまだ話し足りないほど会場は盛り上がりつつありましたが、終宴の時間となり、本会副会長、連盟常任幹事の藤波好文先生の閉会の辞と師井淳吾先生の万歳三唱でお開きとなりました。

今回も無事に開催出来ましたことをご出席いただいた先生方に御礼申し上げます。会員の絆を深めるためにとてもよい機会ですので来年もどうぞよろしくお願いいたします。

(厚生 前田邦治)



第34回 熊本市歯科医師会 親睦大会 夏だ！ビールだ！！



さらなる知識と技術の向上を目指して

—— スタッフレベルアップセミナー ——

5月29日（土）よりスタッフレベルアップセミナーが熊本歯科衛生士学院5階にて開催されました。初めに、医療管理委員会宮本格尚理事より開催の挨拶がありました。続いて（株）GC九州営業所より歯科衛生士の新飼恵未、古谷幸子両講師の紹介があり、新人歯科医師を含めたフレッシュな受講生17名が2班に分かれて講義と実習が行われました。内容は、材料実習①セメント、材料実習②アルジネート印象材・石膏、そしてブラッシングセミナーで以下の日程で進みました。

- 14：30～15：20 材料実習①
- 15：20～16：10 材料実習②
- 16：10～16：30 片付け、休憩
- 16：30～17：20 ブラッシングセミナー
- 17：20～ 質疑応答、製品紹介

材料実習①では、リン酸亜鉛セメントの練和の手順について、JIS法での説明がありました。「粉末の計量、液の滴下と粉末の分割、練和（粉を6分割して、1分30秒で練和）、練和完了。標準の硬さは、スパチュラの先にすくいとり、2秒で垂れ落ちる程度とする。さらに使用したスパチュラは、すぐに水につけておくようにすること」

久しぶりに説明を聞くと新鮮でした。他の材料では、グラスアイオノマーセメント、光硬化型セメント、光硬化型コンポジットレジンについて説明がありました。

材料実習②では、アルジネート印象材による印象採得と石膏模型作製の手順で行われました。「トレーの選択、試適、粉末の計量、水の計量、練和、混水比の注意、トレーへの盛り付け、歯牙への塗布、トレーの圧接、印象の清掃、続け

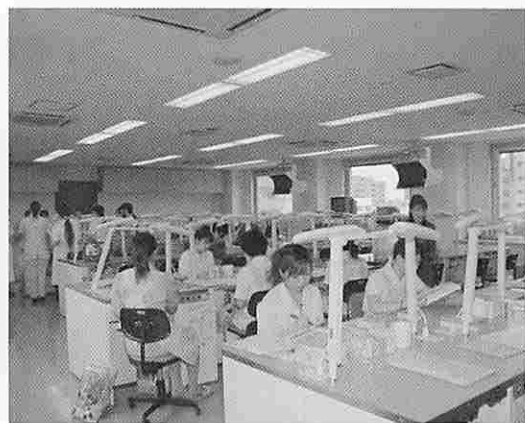
て、石膏の計量、練和、脱泡、石膏注入、トレーからの撤去、トレーの清掃」

石膏を流す際バイブレーターの強さが強すぎる為、模型に気泡が入ったり、流れてしまったり、トレーに石膏を盛る時多過ぎて模型が外れなかった受講生が思いのほか多かったような気がします。しかし、失敗することにより勉強して成長してくれることでしょう。

材料実習後、ブラッシングの講義が行われました。「ブラッシングの最大の目的は健康な歯肉、口腔の獲得です。その方法として①毛先磨きが大切で、毛先で落とす。②毛先を直角に当てる。刷面を使い分ける。歯面を分けて考える。③歯ブラシは、歯面に軽く当てる」

力の入れすぎは、竹ぼうきに例えて、力を入れすぎると先が広がり狙った所に当たらないこと。また持ち方は自由で決して患者の歯ブラシの持ち方を否定しないことが大切です。なるほど。自院の歯ブラシの説明にも使わせていただきました。

次に鉛筆を使った歯ブラシ実習について説明がありました。



【鉛筆実習】

1. ブラッシングの正しい力加減を「Bの鉛筆」を使って体得
2. 歯面をぬらす
3. Bの鉛筆で歯面に印を書く
4. 2～3往復で汚れを歯ブラシで落とす
 - ・正しい力加減（50～100g）だと、2～3往復で落ちる
 - ・力が強すぎたり、歯面に毛先が当たっていないと汚れを落とす事はできない
 - ・「歯ブラシの向き」、「当て方」、「力加減」なども自分自身の工夫が必要となる
5. 鉛筆の汚れが落とせたら、赤染めしたプラークも同じように落とせる

【鉛筆実習のメリット】

赤染めしたプラークは一度落としてしまうと見ることができない

- ・鉛筆は何度でもできる
- ・手軽にできる
- ・短時間でできる

（注）鉛筆を口腔内で使用しても害はない
とのことですので安心してお使いください
（鉛筆メーカーに確認済みです）

【実習手順】

- ① 中央に「点」
- ② 中央に「縦線」
- ③ 中央に「横線」
- ④ 歯頸部に沿って「線」



【歯ブラシの選択】

どの歯ブラシが歯をきれいにするか？より、
歯ブラシをどのように使うかが大切です。

使いこなしやすい歯ブラシは……

- ・毛先の加工がされているもの
- ・ヘッドの大きさはコンパクトで小回りがきくもの
- ・ネック・ハンドル部はストレートでスリムなもの
- ・刷面は平らなもの
- ・毛の硬さはM（普通）、S（ソフト）、U（ウルトラソフト）

【歯ブラシの消毒】

耐熱温度 100℃ ⇒ 煮沸消毒

100℃未満 ⇒ 薬液消毒

【指導法】

① 2度染め方法

磨く→染め出す→チェック→磨く→
染め出す→チェック→磨く

<メリット>

担当者が変わっても対応できる
予後の経過が観察できる

② チャート記録方式

医院内で統一したチャート用紙を用意し、
記入していく

<メリット>

担当者が変わっても対応できる
予後の経過が観察できる

③ ワンポイントレッスン方式

指導をする部分を狭い範囲に限定して行う
方式

全体を見ていくと磨き落とすことだけに集中してしまい本当に伝えたいことが伝わらない

<メリット>

1. 一箇所への指導の為、短時間で簡単にできる
2. 「一箇所だけなら…」とよくやってくれる

3. 他の部分への波及効果も期待できるポイントを選ぶコツは？

- ① 患者さんが気にしている部分
- ② 歯肉の変化（出血・発赤）がみられやすく、分かりやすい部分
- ③ 手鏡で確認しやすい部分
（前歯部→臼歯部）

以上です。

現在、歯科医療はチームプレイであり、それぞれが与えられた仕事を確実にこなす必要があります。そのためにも、今回の講習で行われたような基礎的な事をしっかり把握しておく必要があります。また、歯科医院において患者様との意思の疎通を図る上でもスタッフは大切な役割を担っています。予防が取り沙汰されている今日、患者様に安心して来院してもらうためにも



更なる知識と技術の向上が求められます。勉強会は和やかに進み、受講生にとって有意義な時間になったと思いますので、多くの受講生の参加を願い、来年もぜひ開催したいと思います。

（医療管理 岡本 勝）

一冊の本

罪深き海辺：大沢在昌 毎日新聞社 2009

新宿鮫ではない大沢節を読みたくって手に取りました。読み進めていくうちにどこかで読んだような気がしました。半ばころ、おおっそうさそうさ、ハメットじゃないか！そうです。筒井康隆・大明神もオマージュをささげたあの話（あえて名を伏す）の大沢版でした。ネタばれしても話は手に汗握らせながらあっという間に読了。一気読み。

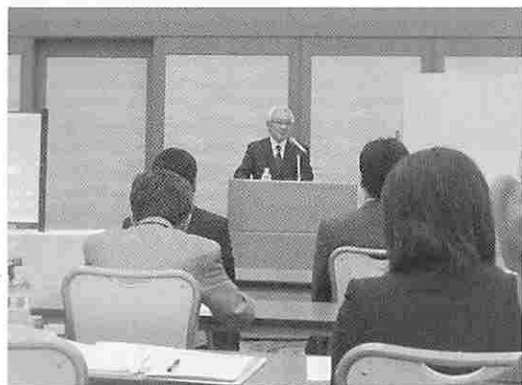
愚か者死すべし：原 稔 ハヤカワ文庫 2007

原さんの沢崎シリーズはもう10年くらいご無沙汰していた。ついに姿を見せないまま死んでしまった相方の渡辺がかかわった話を最後に、しばらく見ないでいたら何ということ、新しいシリーズが出ているではないですか。新・沢崎シリーズ第1弾と見出しに謳っています。新でもなんでも沢崎のハードボイルドに変化はない。酔いしれるひと時でした。読み終わるのが惜しい、一気読み。

日本歯科医療管理学会・九州支部第6回研修セミナー

6月13日（日）午前10時より福岡サンパレスにおいて日本歯科医療管理学会・九州支部第6回研修セミナーが開催されました。医療管理委員会より、宮本格尚理事、高橋禎委員長、岡本勝副委員長が参加しました。

今回は「民主党の医療政策とこれからの歯科医療」というタイトルのもと、民主党で衆議院議員の大串ひろし氏と参議院議員の大久保潔氏の2名の講演がありました。



まず、支部長の野田先生が、民主党に政権交代し、これからの歯科がどうなっていくのか知っておく必要があると話されました。次に、高津会長が挨拶され、社会の中での歯科医療の立場、責任を考えなければならないと述べられました。そして、白土座長のもと講演が始まりました。



最初に大串ひろし氏が講演されました。大串氏は現在、財務省大臣政務官の役職に就かれており、小泉内閣時に行われた年間2,200億円の社会保障費削減の政策の見直しに着手されました。その結果、今回の保険改定において歯科が2%UPすることができたと話されました。これからも保険点数の改善ができるように考えていると述べられました。そしてこれか

らの社会保障について予算面から話されました。現在の日本の国家予算は92.3兆円、その中で一般歳出は54兆円、そのうち27兆円が医療費に充てられています。問題は、今日の不況の中、国保や協会健保などの保険料や国民皆保険の維持などがあげられました。しかしながら、今、日本の借金は約900兆円あるそうです。国民の総資産が約1,500兆円ありますが、総資産のうち約500兆円はすでに国債に回っており、差し引き約100兆円しか余裕がないそうです。数年後にはそのお金を使い切ってしまう、場合によっては日本経済が破たんする可能性があるそうです。この問題については、超党派で考えていかなければいけないと述べられました。



次に大久保氏の講演がありました。大久保氏は歯科医師という職域代表の方です。講演の中で、今回鳩山首相から菅首相に代わり、新しい政策目

標として1. 強い財政 2. 強い経済 3. 強い社会保障があげられました。また、民主党の医療政策として、今問題になっている後期高齢者、医師不足、薬剤などについて話されました。民主党はマニフェストとして新型インフルエンザワクチンの国産化、子宮頸がんのワクチン、たばこ対策、自殺対策、社会保障、医療ツーリズム、を掲げています。健康大国を目標にこれからは、生活習慣病、予防医療、ドクターヘリ、総合医療についてこれから具体的に考えていくと述べられました。歯科に関しては歯科医師の過剰問題があるが需要の増加を考える必要性があると述べられました。

講演では、現在の日本の国の財政面については理解できる部分があったものの、民主党の医療対策については、あまり具体例は示されず、これから検討していくのではないかと思います。（医療管理 高橋 禎）

「形成外科ときず」

医療連携セミナーが開催される

6月17日（木）午後8時より、国立病院機構熊本医療センター内の地域医療研修センターホールで医療連携セミナーが開催された。今回は国立病院機構熊本医療センター形成外科の大島秀男先生を講師に招き、「形成外科ときず」という演題で、歯科医師、歯科衛生士約30名が出席して行われた。以下に内容を簡単に報告する。

形成外科で扱う分野としては、形成（体表の先天異常、二次的変形などの異常な形態を正常な形態に治す）、再建（外傷、腫瘍切除後などの組織欠損の修復、原状を回復する）、美容外科（正常な状態をさらに美しくする）がある。歯科と関連のある分野としては、顔面の外傷や骨折、口唇口蓋裂などの先天異常などである。

創傷は急性創傷（急性かつ持続性でない外的要因によって発症し、通常の治り方をする）と慢性創傷（何らかの原因で通常の治癒曲線をはずれるもの）とに分類される。

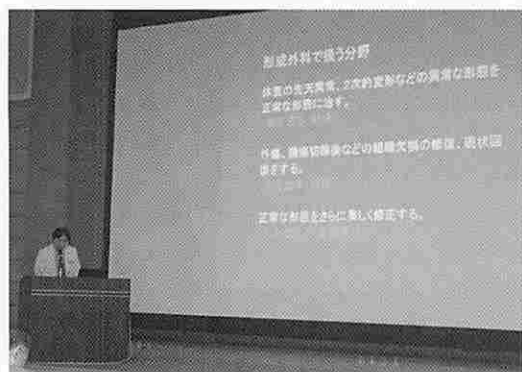
創傷における感染とはWound contamination：創に細菌がいるだけで増殖もしない状態、Wound colonization：増殖能をもっている細菌が創に付着しているが創（宿主）に害を及ぼさない状態、Critical colonization:Wound colonizationより細菌数が多くなり創感染に移行しそうな状



態、Wound infection：増殖する細菌が組織内部に侵入して創（宿主）に実害（創傷治癒阻害）を及ぼす状態の段階がある。

創傷治癒は再生と修復という2つの異なった機序によって行われる。再生は欠損部が炎症や肉芽の形成、瘢痕組織なしに創傷前の組織に回復することをいう。切れたトカゲのしっぽやヒトの肝臓や表皮がこれに当たる。修復とは炎症を伴って肉芽が瘢痕組織に置き換えられていく治癒機転であり、多くの創傷は修復によって原形に近い組織に回復する。この治癒過程がうまく進行しない場合は遅延治癒となる。創傷治癒遅延に影響する因子としては、貧血や低栄養による全身状態の不良や、糖尿病、膠原病、肝機能不全、腎不全などの基礎疾患を有する場合や、免疫抑制剤、ステロイド継続使用、放射線治療などの約歴がある場合、血行不良、感染などの創部の状態などがあげられる。

創傷治癒には一次治癒（一次閉鎖）と二次治癒、遅延一次治癒（三次治癒）があり、一次治癒とは、外科手術創に代表される感染のない切創を、受傷直後に縫合して治癒に向かわせる方法で、二次治癒とは、組織の欠損が大きく、創縁を合わせることができないときや汚染が強く



感染症を起こすことが必定と判断されたときにとられる治療形態で開放創のまま創傷治療を進行させることをいう。遅延一次治癒とはいったん創を二次治癒と同じ開放創とし、感染がコントロールされてから縫合閉鎖する方法をいう。創傷は乾燥状態よりも湿潤状態のほうが創傷治療促進作用を持つ。よって、現在は抗菌薬や殺菌剤で創の感染のコントロールをし、創の状態に応じた閉鎖湿潤療法と創傷治療促進薬によって治療に必要な環境を整えることで創傷治療を

促す方法が行われている。

今回の講演では、慢性潰瘍や糖尿病の合併症（皮膚潰瘍や壊疽などの足病変）などの症例写真も多く提示された。また、創傷治療や感染のメカニズムなどの基本的な考え方を丁寧に解説され、さらに、創傷の治療を促すための現在の考え方や方法なども詳しく述べられた。歯科医療の現場に携わる私たちにとって、大変参考になる意義深い講演であったと思う。

（医療管理 関 喜英）

お勧めのディスク

Esperanza Spalding-Chamber Music Society

talちゃんやmishellちゃんと同じく若手女の子ベーシスト前作はジャズっぽいアプローチが目立ってました。

今度のはウイズ・ストリングスなんだけど、ポップというかヒップというか、たまにストリングスがバルトークっぽい破調を奏でたりしてかなり変な気にさせられたりするけど。今までと違ってジャズ味薄くコンテンポラリーを目指している感じを受けます。私としてはこれまでのラテン色濃いジャズが好きなんですけどね。そういえばPBS Video (Public Broadcasting Service) というサイトでAustin City Limits というコンサートのライブ映像がアップされていまして、そこにはNora Jonesとかもあります。このときの映像を見るとウッドベースを抱きながら歌ったり、フェンダーに持ち替えて歌ったりとかなりストレートなジャズシンガーというイメージを抱いていたんですけども。前2作に免じて今回は評価は保留。

Diane Birch - Bible Belt

どでかい顔のアップに思わず手にとってしまった。ジャズではなくポップです。仕事中でも流してOK。可もなく不可もないさわやかポップ。ずっと昔のジャニスイアンをおもわせます。可もなく不可もないけれど、なにか聞かせどころのつぼにはまる一枚です。

活発に意見交換 ～三歯会～



6月23日（水）午後8時より市歯3階会議室において三歯会が開催された。参加者は、歯科医師会より清村会長、藤波副会長をはじめ医療管理委員会、地域保健委員会、学校歯科委員会、広報委員会、歯科技工士会3名、歯科衛生士会7名で合計23名であった。まず、出席者全員の自己紹介が行われ、宮本医療管理理事の司会のもと意見交換が始まった。

り「歯の衛生週間の事業も順調に進行することが出来、大変嬉しく思っております。次年度からは事前協議題の提出を制度のなかに取り入れてうまく回るシステムを構築していきたい。限られた時間ですがぜひ忌憚なきご意見、前向きな建設的な提案を出していただき、議論ができればこの会の意味があると思う」と挨拶があった。



熊本市技工士会会長の玉置泰伸様より、「有意義な話し合いがしたい。出来れば事前に議題を決めてもらって、準備し前向きな意見交換がしたい」と挨拶があった。次に歯科衛生士会の植由紀子様より、「今年から支部長が3名変わり新しい役員で出席しました。宜しくお願いします」と挨拶がありました。続いて清村会長よ



協議では、まず歯科衛生士会から、平成22年度熊本県歯科衛生士会熊本市支部事業計画書に沿って活動報告および予定の説明があった。ライフステージごとの事業として、乳幼児期、学童期および成人・高齢期に対して講座や歯磨き巡回指導等が行われる予定である。また、「歯の衛生週間事業「2010歯の祭典」では、歯科衛

生士コーナーおよび口腔介護コーナーを担当した。初めての取り組みにしては、多数の来場者があり成功したと思う」と報告があった。

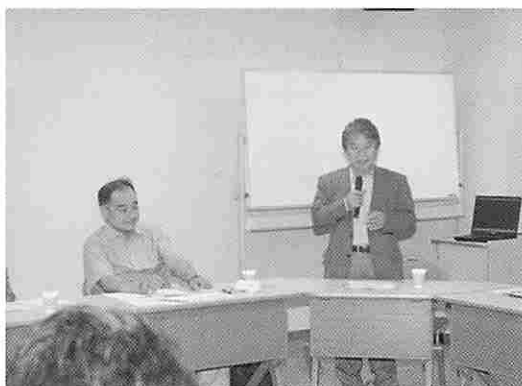
次に歯の祭典に関しては、斉藤地域保健理事より以下の報告があった。各コーナー別では、「口臭測定コーナー」111名、「技工士会コーナー」約250名と3桁に達しており大変賑わった。また、「歯の何でも相談コーナー」は57名で例年並であったが、屋内でじっくり話せる事により内容の濃い相談ができた。総来場者数は、808名で予想を上回っていた。



次に、歯科技工士会から、大江市民センターの「市民の集い」に毎年参加しているが、今年は、西部か南部に活動範囲を広げる予定である。また次回からは、総会の事業計画等の資料を用意しようと思うということであった。

歯科医師会から、口腔ケアの現状について清村会長より以下の報告があった。介護認定審査会で上がってくる書類（食機能連携ユニットパス）において、歯科関連のチェック項目には、ほとんどチェックが付いていない、というのが現状である。これから、歯科技工士会、歯科衛生士会に協力していただき問題点を検討していきたい。そして口腔ケアの項目をもっと簡単に、機能的な形に変更し、誰がチェックしても分か

りやすく出来るようにしたいとのことであった。また、歯科衛生士会からは、実際に週1回口腔ケアに回っている現場の話があった。口腔ケアに回るようになって、肺炎の発生が減ってきているように感じる、また入院しても比較的短期間である。今後は、このデータを取り、分析等が必要と思うということであった。



また、歯科技工士会に寄せられている医療苦情について紹介があった。苦情のほとんどが、「入れ歯が合わない」、「クラウンやMBが直ぐに外れた」などがほとんどであった。歯科医師に対しては、患者さんの訴えをよく聞いて、最後まで診て優しく対応してほしい。今後もこの場で、歯科技工士会に寄せられる苦情や相談を發表させていただき、良い補綴物が提供できるようにしたいとのことであった。

最後に、今後も連絡を密にして、同じ方向を向いて、明るい歯科界のために頑張らしましょう、ということでの閉会となった。

厳しい歯科界を今後とも盛り上げていくためには、この三歯会が力を合わせて取り組んでいく事が益々需要となるので、今後ともこの様な機会を設けて、意見交換していく事が非常に大切だと感じられた。

（医療管理 片山晃紀）

「歯科領域における薬物の使い方」

平成22年度 第1回学術講演会

5月22日（土）、歯科医師会館3F市歯会議室におきまして、熊本大学歯科口腔外科教授篠原正徳先生より、「歯科領域における薬物の使い方」と題して講演を賜りました。



（抄録より）——

歯科領域で使用される薬剤は多数にのぼるが、今回は主に抗菌薬の使用法について解説する。現在使用されている抗菌薬の種類は1）ペニシリン系、2）セフェム系、3）マクロライド系、4）リンコマイシン系、5）ペネム系、6）アミノグリコシド系、7）テトラサイクリン系、8）グリコペプチド系、9）クロラムフェニコール、10）ホスホマイシン（ホスミシン）、合成抗菌薬：1）ニューキノロン系（ピリドンカルボン酸系）（フルオロキノロン系）など多彩である。

これらの抗菌薬を使用するにあたっては、以下の点を考慮する必要がある。

- (1) 抗菌薬選択の原則：1. 原因微生物に対する感受性、2. 目的臓器における薬剤濃度、3. 排泄臓器に障害がある場合の量の調節、4. 副作用と臓器の予備能、5. 費用、6. 耐性菌の状況など、がその判断基準となる。
- (2) 治療の原則：1. 原因微生物の正しい判断、2. 適切な抗菌薬の選択、3. 適切な使用量の状況など、がその判断基準となる。

(3) 抗菌薬の投与方法：抗菌薬によってその作用効果は異なる。1. 時間依存症：感染巣内の濃度をMIC（最小発育阻止濃度）以上に維持する時間に注意を要する。2. 濃度依存症：感染巣内の薬剤濃度を高くすることが治療効果に反映する。これらの点は薬剤の投与方法の決定に重要である。

(4) 薬剤耐性菌の防止方法（不十分な薬量を長時間使用すると薬剤耐性が生じやすい）：
1. 感染症治療薬か、予防投与薬かを判定し、2. 感染症治療のターゲット菌を明確にして、3. 感染症の初期に有用な抗菌薬を適切に使用し、4. 感染症治療には十分な時間をかけ、5. 薬剤耐性の防止の為にサイクリング療法を考慮する。

(5) 感染症治療の基本：1. ターゲット治療（原因微生物を推定あるいは特定しての治療法）が原則であるが、临床上では、2. エンピリック治療（ある程度の範囲で推定し抗菌薬を使用する治療：原因微生物を臨床的か疫学的な経験に基づいて絞り込み、出来るだけ狭域な抗菌薬を選択する）を行うことが多い。

(6) 各種薬剤の有害事象。すべての薬に有益な効果（主作用）と有害な副作用（有害事象）があり、そのくすりの副作用が時に口腔領域や全身臓器に症状を表してくることがある。また、その薬の主作用ではあるがそれが口腔領域に不都合をもたらすこともある。そのため主作用をうまく引き出し、副作用を出来るだけ抑えることが薬物療法においては肝要である。

また歯科の感染症の特徴として、好気性菌、嫌気性菌の複合感染である場合が多い。好気性菌として、Streptococcus属72%、Gemella属11%があり、嫌気性菌としてPrevotella57%、

Peptostreptococcus 47%、Fusobacterium 12%、Porphyromonas 4%がある。このうちStreptococcus属については、耐性傾向は少ないが、最近の歯科感染症の特徴として、31%がβラクタマーゼ産生株であるPrevotella属が増えているのが特徴である。必要以上の抗菌薬の投与は、耐性菌出現の問題があり、歯科の分野では予防投与に関して過剰にならないように注意する必要がある。同時に感染症を考える場合、宿主の生体防御機構が一番の防御として働いているので、宿主の状態が糖尿病などの基礎疾患に罹患していると感染が重篤化する可能性もあるので注意を要する。

ペニシリン系薬剤はプロドラッグ（胃の中で加水分解されて抗菌力のあるアンピシリンに変わり、抗菌作用を発揮する）であるため、食後に服用でき吸収性が良い。セフェム系は第1世代のケフラール等は効かないと考えてよく、第3世代のセフゾン、トミロン、メイアクトなどが現在使用されている。またセフェム系は、エステル化剤（トミロン、メイアクト、パナンなど）と非エステル化剤（セフゾン、ケフラールなど）に大別される。このうちエステル化剤はpH2の胃内で吸収されるようになっているため、H2ブロッカーやプロトンポンプインヒビター（PPI）を服用中の患者では、吸収されず化学変化を起こして抗菌活性のない他の物質に変化してしまうので注意が必要である。その点非エステル化剤では、胃酸のpHの影響は受けないので使用は可能である。半面、貧血患者などで鉄製剤を服用している場合は、非エステル化剤は吸収されにくい。マクロライド系抗菌剤は、激しい副作用（アナフィラキシーショック）や発疹などの副作用がペニシリン系やセフェム系より少ない。また唾液中への移行がよく、難治性の感染症の原因になっているバイオフィルムを溶かす作用があるのが特徴である。ただ食間に服用する必要があるため、現在ではクラリス、ジスロマックが多く使用されている。ペニシリン系、セフェム系が時間依存性（感染巣内の濃度をMIC以上に維持する時間が治療効果に反

映される）のに対し、ニューキノロン系、マクロライド系のジスロマックは、濃度依存性（感染巣内の薬剤濃度を高くすることが、治療効果に反映される）である。したがってペニシリン系、セフェム系では投与間隔に注意する必要があり、ニューキノロン系、マクロライド系では薬剤の投与量に注意する必要がある。

小児に対する抗菌薬の使用に関する注意点は、



いかに服用させるかということ。セフゾン細粒が一番服用してもらいやすいが、歯科疾患の適応をもたない。老人ではセフェム系が使いやすく、ニューキノロン系は眩暈・頭痛などの副作用がでることがあるため第一選択としては使わないほうがよい。妊婦に対しては、完全に安全性が確立されているものはないが、ペニシリン系、セフェム系、マクロライド系は問題ないとされる。ただ消炎鎮痛剤でボルタレン、ロキソニンの使用禁忌なので注意する必要がある。授乳中の場合、乳汁移行が問題となる。ペニシリン系、セフェム系は乳汁中にほとんど移行しない。マクロライド系は移行が高いが、移行しても問題はない。ニューキノロン系は15歳以下の小児に投与できないので禁忌である。ワーファリン使用の患者では、セフェム系（セフゾン）、アジスロマイシン（ジスロマック）はワーファリンの作用を増強するので注意が必要である。

当日はファイザーの協賛もあり、多くの方にご参加いただきました。日常診療での薬の使用について改めて考えさせられる内容で非常に有意義な講演でした。（学術 関 光輝）

「高齢者の義歯とケア」

平成22年度 第2回学術講演会



7月10日(土)15:00より歯科医師会館3階において、熊本市歯科医師会第2回学術講演会が開催されました。講師は東北大学大学院歯学研究科教授の濱田泰三先生で、「高齢者の義歯とケア」というテーマにてご講演いただきました。



多くの会員の先生方にご参加いただき、盛況のもとに終わりました。今回のテーマはわれわれ歯科医師が日々の診療で直面している内容で、また濱田先生のお話も面白く、講演にどんどん引き込まれていきました。

1. 義歯そのものは長い歴史を有し、人工代替医療の中でゆるぎない実績を保っていることはだれもが認めることです。実際高齢の方で同じような歯を失った人たちのグループで、義歯を装着しているグループとそうでないグループでは明らかな生活の質的差が認められています。ところがその義歯に対して満足してない方々が多いのも事実です。義歯はその作り方、材質に加えて、それを使いこなす患者さんの特性も大切な要素です。さらに言えば、満足、不満足は、義歯に対する期待値と、現実のギャップです。よって客観的に見て、合格クラスの義歯でも満足できない方もいれば、今一つ出来の悪そうな義歯でも、なんとかうまく使いこなして全く不満の無い方もいるのです。これまでの義歯の作り方は、今日のような高齢者を想定したも

のではなく、それに伴って患者さんの口腔内や、顎の動き、かみ合わせ、顎の骨のやせ具合も今の現実とは大きくかけ離れています。このことが、教科書通りに作った義歯が受け入れてもらえない一因です。いわゆる、疾病構造の変化に合わせた現実的対応が高齢社会での義歯についても急務といえます。

2. いくら理屈では正しいと思っても患者さんが受け入れない義歯は失敗です。それには患者の順応力の低下、学習能力の低下、慣れない、頑固などの要素が考えられますが、患者に受け入れてもらうためには、これまで使ってきた義歯をよく見て、なるべく大きな変化を一気に与えるのではなく、改善すべきところを少しずつ、それも患者さんの反応を確かめながら進めるのが秘訣です。そのための具体的アプローチが、現義歯を複製して、それをあるときには治療用義歯として活用したり、あるときには、印象用トレーとして使ったり、咬合床として使ったりします。

3. また、来院できない患者さんも増えていきます。往診先ではリラインやリペアはとても有効な手段です。これまで、リラインもリペアもいわゆる逃げの一手であったと思われますが、それにはそこに使用される歯科材料にも限りがありました。ところが今ではリラインに使用される床用材料は著しく改良されており、国際的にも国産品がリードしている状況です。

4. 床下粘膜が薄いときや、歯槽骨の条件が悪いときに、人口粘膜の代用としての軟質義歯裏装は効果があります。もちろん、硬質なものに比べて耐久性の問題や、きれいに保つための

一工夫は必要です。シリコン系は一般的に耐久性はよいが弾性的で、アクリル系のものは粘弾性的で耐久性はやや劣るという特性があります。咬合力に対する緩和という観点からはアクリル系は優れています。

5. 最近の高齢者に目立ってきたのが、ドライマウスです。これは老化に加えて、さまざまな薬を服用することの結果と考えられています。まずは主治医にも口腔内の症状を相談し、今服用しているものを他のものに変えるなどを試みることが必要です。それでも症状が緩和しないときには、保湿剤を使ってみることもいいかもしれません。義歯については、適切に作られていても安定しないような場合、義歯安定剤の出番になります。おもに唾液の粘度を加減することで義歯の維持、安定を改善します。

6. 入歯になれば歯を磨かなくていいから楽だなどという患者さんもいた時代がありました。いまや義歯は汚れやすく、デンチャープラークコントロールは必須です。デンチャープラークコントロールは、義歯をきれいに保ち、匂いから解放されるのみならず、お年寄りによく見られる誤嚥性肺炎の原因が汚い義歯だと分かってから、ますます義歯をきれいに保つことの大切さが分かってきました。ブラシなどで義歯表面を傷つけない範囲で、目に見える食べかすや汚れを取り除いてから、化学的にもきれいにします。市販の義歯洗浄剤はたくさん出回っていますが、義歯洗浄剤も、歯科医院で使うと効果的な、いわゆるオフィスユースは即効性の次亜塩素酸系がいいでしょう。しかしこれは家庭で、高齢者の患者さんが使うには適当ではありません。ホームユースにはあまり強くなく、しかも弊害がないものがが必要です。一番良く使用されているのはポリデントでしょう。義歯の材質を傷めず、かつ汚れだけを取り去ることは大変なことです。なぜなら汚れの一部は内部にまで浸透していることが多いからです。よって、一番良いのは、汚れすぎるまではっておかず、汚れすぎる前に、強すぎる洗浄剤に頼らずに洗浄することです。いずれにせよ今では義歯材質に

合わせて洗浄剤を選べるため、それぞれの洗浄剤の特性を理解する必要があります。なお、洗浄を本人がすることが出来なくて、介護の方がすることも多くなってきました。特に施設入所では多くの方の義歯を集めて回り、まとめて洗面所で汚れを落としたり、義歯洗浄剤に浸けたりしていることが多いようです。

7. 下顎の総義歯はいくら努力しても緩い、すなわち外れやすいし、動揺する。これは国際的にも同じです。この問題に対して2002年、カナダのマギル大学から、マギルコンセンサスが発表されました。すなわち、下顎に2本のインプラントを併用したオーバーデンチャーがもっとも効果的だろうというものです。日本でもミニインプラントを併用したオーバーデンチャー研究会ができ、活動しています。

8. 高齢者のメンタル面を理解することは義歯治療では必須のことです。歯科医にとっては難解なことだし、いざとなれば専門の先生と相談しながらと云うことになります。

9. 高齢者の健康状態も口腔内の状態も多岐にわたります。あくまで人工の道具である義歯を使うにあたり、その受け入れ方は人様々です。60年、70年のそれぞれの方々生き様、生活信条、性格、人格を反映しているともいえます。だから一方的に押し付けても決してうまくいかないでしょうし、相手の出方、反応をよく見極めながらその対応を修正していく必要があります。義歯、あるいは一般にリハビリのゴールは一樣ではありません。人により異なるし、さらに限りなくゴールに迫るにしても、そのルートは画一的なものではありません。患者さんごとに受け入れやすいルートで、限りなくゴールに迫る必要があります。そのためには患者さん、高齢者の特質をわきまえ、もちろん義歯作製の手立てをたくさんかつ最高のものを用意すべきである。

術者主導になりがちな歯科治療ではありますが、講演を拝聴し、やはり患者さんそれぞれに応じた治療計画、ゴールの設定を心がける必要があると改めて感じました。



(学術 山口英司)

熊本市歯科医師会と 国立病院機構熊本医療センターとの協議会

7月8（木）日午後7時より熊本県歯科医師会館3階会議室にて、国立病院機構熊本医療センターと熊本市歯科医師会との協議会が行われた。熊本市歯科医師会からは清村正弥会長、藤波好文副会長、渡辺猛士専務理事、宮本格尚理事（医療管理）、関喜英医療管理委員が出席し、国立病院機構熊本医療センターからは、池井聰院長、河野文夫副院長、片渕茂地域医療連携室長、高橋毅救命救急部長、中島健歯科医長が出席した。



協議会は、1、歯科紹介率について、2、歯科救急医療（救急の利用状況）について、3、救急蘇生講習会について、4、開放型病院連絡会について、5、その他 メディカルスタッフ向けの口腔ケア研修会と障害者歯科治療などについて、であった。

1の歯科紹介率は、平成19年度から22年度までの月別紹介率が示され、33～40%となっている。年間累計で40%を目標に考えているとのこと。この数字は、ここ数年ほとんど変わっていないので、引き続き紹介率がアップするように協力をお願いしたいとの事だった。

2の歯科救急の利用状況は、救急外来受診患者数が、平成18年から平成22年の現在までで年間合計112～151人の間で、交通事故やけんか、

DV等による外傷の患者数が半数前後と多いのが特徴と言える。また、認知症患者の義歯（総義歯、部分床義歯）の誤飲の患者さんもあり、内視鏡や開腹手術で除去した例もあるそうである。

3の救急蘇生講習会は現在のところ11月11日に同医療センターの地域医療研修センターホールで開催予定である。国立病院機構側から、実習のグループ分けの関係で、開催日の1週間前までに参加者の人数を確定してほしいとの要望があった。よって、開催日から1週間前以降から当日までの申し込みの参加者は、講義と実習が見学のみとなるので、1週間前までに確実に申し込みを行うようにしてほしい。特に、本年は救急蘇生ガイドラインが過去5年間のエビデンスに基づいて改定されたため、各歯科医院がスタッフ全体で受講されることが望ましい。医療安全でも受講が義務付けられているので、是非この機会を利用していただきたい。



4の開放型病院連絡会は、平成22年9月2日午後7時から9時まで、パレオホールにて行われる。医科の症例報告では動画も交えて最先端の医療に触れる事が出来るよい機会なので、是非多数の参加をおねがしたい。

また、懇親会も予定されているので、国立病

院機構熊本医療センターの先生方と話ができるので、情報交換の場として利用していただきたい。



5のメディカルスタッフ向けの口腔ケア研修会は今後も同医療センター地域医療研修センターホールで予定されている。過去3回行ってきたが、当初の目的であった「看護師等の方々に口腔ケアを理解していただく」という事に対して、残念ながら参加者が少ないという現実があるので、今後の実施に関しては、再考の余地があると思われる。また、障害者歯科治療に関しては現在勉強会を立ち上げ、受け入れ医院を増やし、それを明確にするなどのネットワーク化を進めるべく準備を進めているところであるとの報告があった。それぞれへの、各会員の積極的な参加が望まれるところである。

(医療管理 関 喜英)

自ら進んで健康生活を实践する児童生徒の育成 ～健やかな心身の育成と健康生活の在り方を求めて～

第31回熊本市学校保健合同研修会

6月24日(木)午後2時より、くまもと県民交流館パレアホールにて学校保健会総会が行われた。豊田大徳会長の挨拶の後、勤続15年以上の学校医、学校薬剤師方々等の(今回は学校歯科医の該当無し)学校保健功労者表彰があり、その後、研修会は「歯の大切さについて～歯・歯肉の健康～」で、福岡歯科大学 口腔保健学講座 助教 山本末陶先生の講演を行いました。

対象者は、校長(教頭)・園長・教職員・保護者・三師会の方々と、300名弱の出席が有り、講師の山本先生は、学校の保護者の方々にもわかりやすく講演をして頂きました。

まず、「ご自分の歯は何本ですか」「自分の歯が何本あるかわかる方」と会場の方々に質問すると、約半数の方ぐらいしか手が挙がっていないようでした。

むし歯の3つの原因、むし歯の3つの予防法を、その1つにフッ素洗口を紹介。また、歯肉炎の原因はプラークで、プラークがたまりと歯肉は病気になり、歯肉炎を予防するには、みがき残しがないこと、歯石の除去、セルフケアとプロケア(定期健診)が大切なことを。

また、昨年行われた思春期歯科保健推進モデル事業を紹介。モデル校5校の小学5年生を対象に歯肉炎及び生活習慣病を予防するための自己管理能力の向上と歯科保健意識の向上を目的で行われました。定期歯科健診①、事前調査の後、1回目の保健指導(授業)自分の歯と歯ぐきについて興味を持ち、2回目で磨けるようになる技術の習得後、夏休みフォローアップ(宿題)、歯科健診②、事後調査後、評価を行うというプログラムです。

結果として28%歯肉炎の改善が認められ、児童の感想文から歯肉炎が良くなる理由として

- (1) 歯垢染色体験により歯垢がついていることの認識(視覚的な気づき)
- (2) 自分にあったブラッシング体験によりブラッシング効果の確認、爽快感(視覚的な気づき)…効果的なブラッシング行動の継続
- (3) 歯肉炎についての学習により歯肉炎は自分で治せる、歯みがきの目的化(歯みがきの目的への気づき)が報告された。

(学校歯科 井手裕二)

子供たちの集中力を維持させて

——平成22年度歯磨き巡回指導（前期）報告——

平成22年度歯磨き巡回指導は今年17校中の前期分、6月1日飽田南小学校からはじまり6月30日帯山小学校まで11校、3年生28クラスの合計845名と、特別支援学級76名に行いました。今回は、児童数が多い小学校が多く、3クラスが5校、4クラスが2校（今回も6月に集中されてしまいました）。

今年も問題なくとはいかなくて、ビデオデッキの調子が悪かったり、ビデオが使用できない学校がありました。また、特別支援学級で、劇をするのですが、ムシバイキンの衣装を忘れてしまったり、通常どうりいかなかったことも。

6月11日、桜木小学校へ歯磨き指導にいきました。最近の校舎は、耐震補強工事が修了しているか、工事中です。桜木小学校の廊下の通路にX体の補強がされていました。

いつものように指導を行い、すこし時間が余ると、クラスの児童に質問を受け付けるのですが、みなさん元気がよくて質問が多くて、時間を押してしまい、担任の先生のまとめの時間が少なくなり申し訳なかったです。

6月18日、芳野小学校へ、熊本市内で1番山奥？（金峰山の北側）と思われる小学校です。本妙寺から金峰山方面へ、当日は雨で登るにつれて雲の中へ、峠の茶屋から右の細い道へ、霧の中を段山から30分くらいで到着。芳野小学校は昨年（平成21年）に思春期歯科保健推進モデル事業でモデル校になった学校です。森のなか

にある、車の騒音が聞こえてこない静かなところで小鳥のさえずりが聞こえてきます。「ホーホケキョ」とウグイスの鳴き声が。3年生1クラス23名で全員静かに熱心に歯科衛生士の説明をよく聞いてくれていました。1クラスの人数は、20数名前半くらいがいいのではないかと思います。

歯磨き巡回指導は、1時限45分でむし菌の講話と歯垢染め出しの実習（染め出しに時間がかかる）を行うのですが、順調にいかないと時間ギリギリで、よければあと10分くらいあれば…でも子ども達を集中させておくことは、難しいです。予習としてビデオを見せたり、復習としてもう一度歯垢染め出しを行ってもらいたいのですが。

たいがいの小学校で歯磨き巡回指導をはじめる前に「お家に帰ったら、まず何をしますか？」とたずねると、流行性インフルエンザの影響で、ほとんどの子ども達は「手洗い」「うがい」と答えます。「手洗い」「うがい」が徹底されたため、O157等の食中毒の発生が少なかったとか。児童の予防意識の向上になれば。

今回ご協力くださった学校歯科医の先生と同伴の衛生士さん、熊本市衛生士会、ありがとうございました。

それにしても、今年の梅雨の時期は、よく雨が降ったな。



平成22年度歯磨き巡回指導実施報告（前期）

学校名	実施期日	曜日	実施時間	時間	3年生人数	組数	特別支援学級	学校歯科医師
1 鮑田南	6 / 1	火	5時間目	14:15~15:00	16人	1	1人	尾上 宏
2 長 嶺	6 / 2	水	3時間目	10:55~11:40	139人	4	10人	寺本 豊穂 合澤 康生
3 川 口	6 / 4	金	5時間目	13:55~14:40	21人	1	5人	河野 哲朗
4 清 水	6 / 8	火	3時間目	10:50~11:35	98人	3	14人	緒方 孝則
5 池 上	6 / 9	水	3時間目	10:40~11:25	46人	2	5人	古川 猛士
6 桜 木	6 / 11	金	3時間目	10:50~11:35	97人	3	6人	渡辺 洋
7 白 山	6 / 15	火	5時間目	14:05~14:50	108人	3	5人	清村 正弥
8 芳 野	6 / 18	金	3時間目	10:50~11:35	23人	1	1人	廣田 達也
9 大 江	6 / 22	火	5時間目	14:05~14:50	86人	3	9人	宇治 壽康
10 北部東	6 / 25	金	5時間目	14:00~14:45	91人	3	7人	井上 泰子
11 帯 山	6 / 30	水	3時間目	10:35~11:20	120人	4	13人	神崎 理子 二宮 康郎

※11月実施につきましては、2学期に再度確認いたします。



（学校歯科 井手裕二）

歯科用レーザーについて

熊本市歯科医師会 関 光輝
学術委員

1. LASER (レーザー)

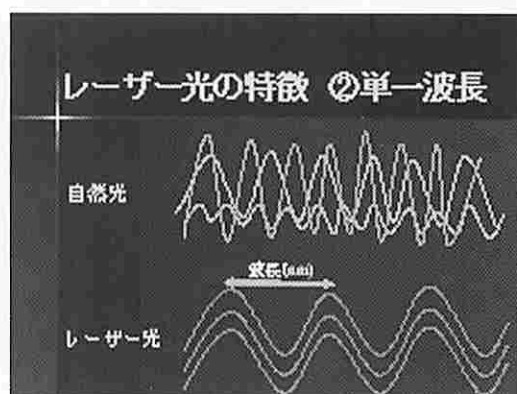
LASERとはLight Amplification by Stimulated Emission of Radiationの略語であり、翻訳すると、「誘導放出による光の増幅」ということになる。一般的には、買い物をしたときのレジ、CD・MD・DVDなど音響周辺機器、パソコンなどのデータ通信、レーザーポインター、形成外科やエステなどで使用されている。

2. レーザー光の3大特徴

自然光が拡散しながら進むのに対して、レーザー光は直進性がある。

自然光が複雑なノイズ波なのに対して、レーザー光は純粋な正弦波。

レーザー光は自然光よりも光を集めることができる。



3. レーザーの種類

固体レーザーとして、Nd:YAG・Er:YAG・半導体レーザーがあり、気体レーザーとして、炭酸ガスレーザーがあります。

各レーザーの特徴を決定する上で、「波長」「発振モード」「導光方式」の要素がある。

吸収特性……

吸収とはレーザーを組織に照射した時に必ず起こる現象で、吸収された時にはじめて熱を発

生ずる。(レーザー光自体は熱くない!!!)

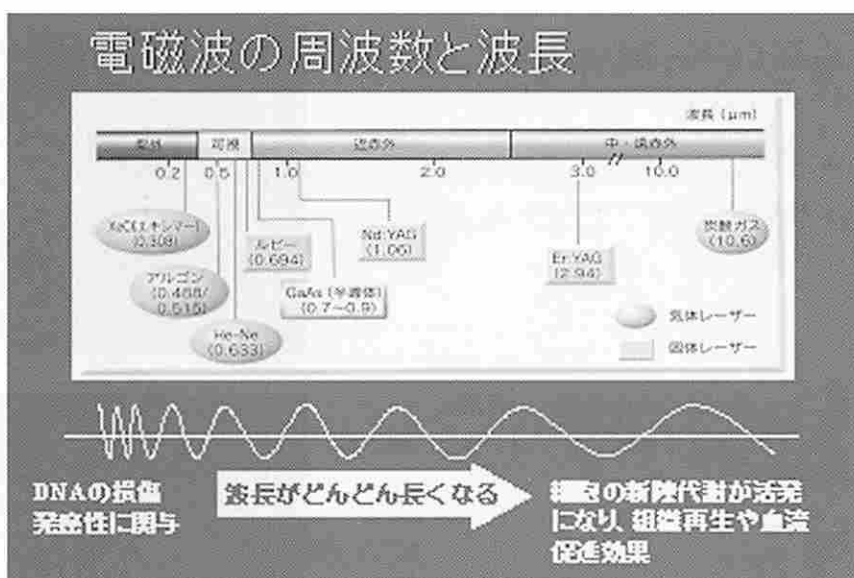
また吸収特性は各レーザーの波長によって違う。

CO₂、Er:YAGレーザーは水に吸収されやすく、Nd:YAG、半導体レーザーはメラニン、ヘモグロビンに吸収されやすい。

つまり、波長の違うそれぞれのレーザーで吸収される(反応する)性質が違うことにより、止血効果や、浸透性が違うので、それぞれのレーザーで得意な症例が違う。

● 波長による分類

Nd:YAG	1064nm
CO2	10640nm
Er:YAG	2094nm
半導体	810nm

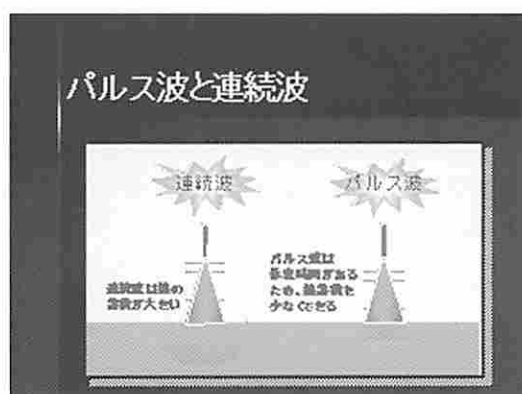


● 発振モード

熱の蓄積が大きい連続波と照射休息時間があるため熱蓄積を少なくできるパルス波がある。

熱が蓄積しやすいと炭化・蒸散作用に優れる反面、痛みが出やすい。

よって、パルス波に比べ、連続波は痛みが出やすい。

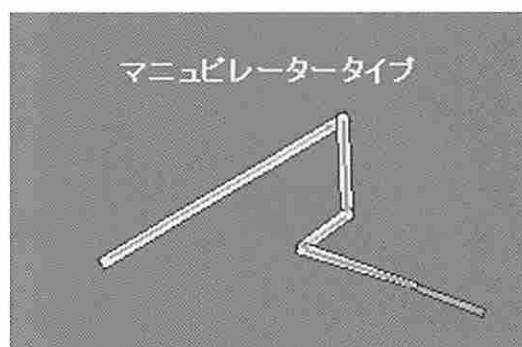


● 導光方式

「マニピレータータイプ」

関節ごとについているミラーによって反射し平行直進性をもって放出される。

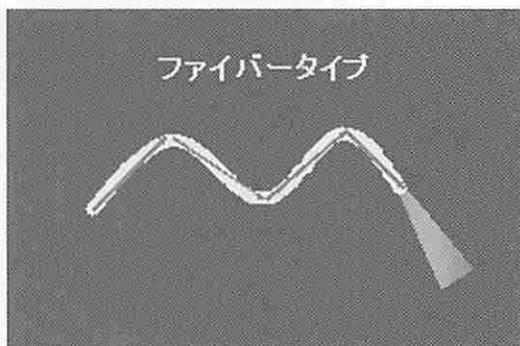
エネルギーの減衰率が低く、直進性に優れるため炭化、蒸散作用に優れるが操作性がファイバータイプに比べて悪い。



「ファイバータイプ」

ファイバー内で内反射を繰り返し放出されるため平行性は失われ少しの拡散角をもつ。

エネルギーの減衰率が高く、炭化、蒸散作用においてマニピュレータータイプよりも劣るが操作性がマニピュレータータイプに比べて良い。

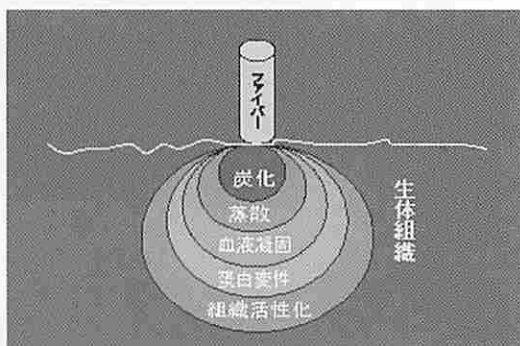


4. レーザー光の生体組織への作用

レーザー光を生体組織に照射すると吸収され熱を発生する。

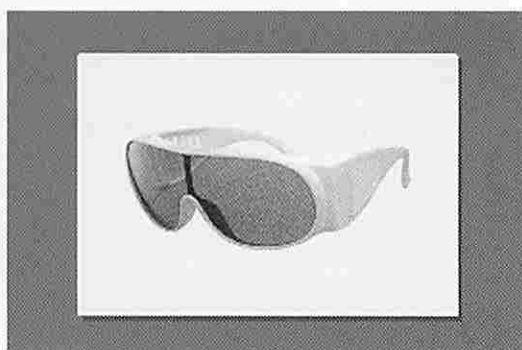
その温度により組織にそれぞれの変化がみられる。

炭化・蒸散・血液凝固・蛋白変性・組織活性化の5段階があり、それらは光化学破壊的作用であったり、光化学活性化作用などといわれている。



5. 安全に関する留意点

レーザーを使用する際は眼に対する保護は非常に重要であり、波長に応じた保護メガネが必要である。



6. 症例写真

「エプーリス除去」



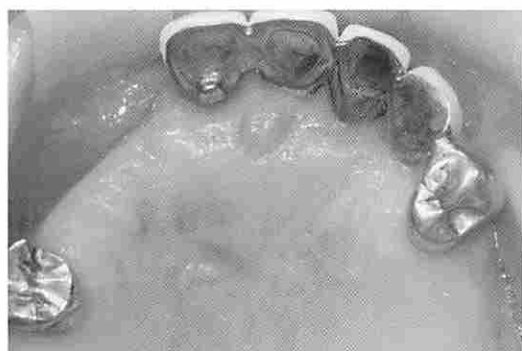
初診時



レーザー照射



切除翌日



切除1 W後

7. まとめ

現在、各メーカーからさまざまなレーザーが発売されておりますが、どの種類のレーザーが良いかということは一概には言えません。それぞれのレーザーに得意、不得意の分野があり、

使用する医院のスタイルによっても変わってきます。まずは何を目的にレーザーを導入するのかをよくご検討されていけば、おのずと使用するレーザーは決まってくるのではないかと思います。

新人です！よろしくお願ひします

新 入 会 員 紹 介



氏 名 はしもと よしと 橋元 義人

診療所名 橋元歯科

(診療所) 〒862-0924 熊本市帯山 4 丁目3-18

電 話 / 096-340-1511 FAX / 096-340-1513

(自宅) 〒862-0924

熊本市帯山 5 丁目11-7-1

電 話 / 096-285-4378 FAX / 096-285-4378

趣 味 音楽鑑賞

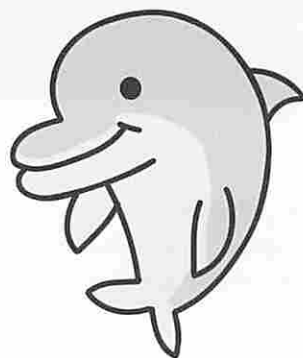
好きな言葉 鬼手仏心

経 歴 大阪府立生野高等学校卒業

鹿児島大学 H 9 年卒

医療法人白美会・納学院歯科（京都）勤務

医療法人アンプル原歯科（熊本）勤務





スポーツの広場



あつまるデンタル・ゴルフ会

平成22年4月4日 15名

		OUT	IN	GRO	HP	NET
優勝	古賀 明	42	42	84	19	65
2位	宮崎 幸一	41	45	86	17	69
3位	田村 実雄	47	46	93	23	70
4位	北川 隆之	41	44	85	13	72
5位	合沢 康生	48	45	93	20	73
B.B.	寺島 美史	60	63	123	37	86

熊本デンタル

平成22年8月1日 13名

		OUT	IN	GRO	HP	NET
優勝	稲葉 逸郎	36	39	75	4.8	70.2
2位	内田 隆	48	45	93	21.6	71.4
3位	渡辺 博	45	44	89	16.8	72.2
4位	松本 光示	38	44	82	9.6	72.4
5位	神戸 威	49	46	95	21.4	73.6
B.B.	本田 亘	59	45	104	23.8	80.2

平成22年5月19日 24名

		OUT	IN	GRO	HP	NET
優勝	北川 隆之	41	37	78	13	65
2位	安田 光則	39	46	85	19	66
3位	坂井 満	41	47	88	19	69
4位	関 剛一	48	42	90	21	69
5位	合沢 康生	48	41	89	20	69
B.B.	山室 紀雄	51	49	100	20	80

空港デンタル

平成22年5月30日 13名

		OUT	IN	GRO	HP	NET
優勝	渡辺 博	42	44	86	15.6	70.4
2位	稲葉 逸郎	45	41	86	15.6	70.4
3位	松本 光示	37	38	75	2.4	72.6
4位	神戸 威	48	47	95	21.6	73.4
5位	大嶋 健一	41	47	88	13.2	74.8
B.B.	吉田 皓一	52	54	106	26.4	79.6

平成22年6月6日 14名

		OUT	IN	GRO	HP	NET
優勝	河野 敬明	48	44	92	22	70
2位	宮崎 幸一	44	44	88	14	74
3位	河合 隆一	52	39	91	17	74
4位	濱崎 みどり	52	46	98	22	76
5位	永田 博久	55	56	111	34	77
B.B.	山室 紀雄	53	50	103	20	83

平成22年7月11日 10名

		OUT	IN	GRO	HP	NET
優勝	松本 光示	42	43	85	12.0	73.0
2位	渡辺 博	45	44	89	14.4	74.6
3位	大嶋 健一	48	44	92	16.8	75.2
4位	甲斐 利博	49	43	92	15.6	76.4
5位	稲葉 逸郎	39	46	85	8.4	76.6
B. B.	本田 亘	57	55	112	33.4	78.6

会 務 報 告

理 事 会

月 日	協 議 題
5 月25日	会務・庶務、会計報告
6 月18日	会務・庶務、会計報告
7 月23日	会務・庶務、会計報告

地 域 保 健 委 員 会

月 日	協 議 題
5 月 7 日	2010 歯の祭典チラシ振りわけ 歯っぴーキッズ出務者について
5 月14日	2010 歯の祭典うち合わせ
6 月24日	2010 歯の祭典集計
7 月15日	健康フェスティバル打ち合わせ

医 療 管 理 委 員 会

月 日	協 議 題
5 月20日	産廃のマニフェストについて 5、6、7月スケジュール確認
5 月28日	医療相談について
5 月29日	スタッフレベルアップセミナー打ち合わせ
6 月23日	三歯会
7 月22日	放射線漏洩測定器の貸し出しについて
7 月28日	医療相談について

厚 生 委 員 会

月 日	協 議 題
5 月14日	ビアパーティー打ち合わせ
6 月 9 日	ビアパーティー打ち合わせ
6 月25日	ビアパーティー打ち合わせ
7 月16日	ビアパーティー反省会 合同委員会打ち合わせ

社 保 委 員 会

月 日	協 議 題
5 月26日	社保説明会について
6 月30日	新入会員対象の社保説明会について レセプトオンライン化への対応について
7 月 3 日	新入会員対象オリエンテーション報告
7 月21日	電子レセプト請求への対応について

広 報 委 員 会

月 日	協 議 題
5 月13日	中岳149号編集
5 月26日	中岳149号一校
5 月31日	中岳149号二校
6 月30日	中岳149号反省 かわら版 7 月号編集
7 月29日	中岳150号打ち合わせ かわら版 8 月号編集

学 術 委 員 会

月 日	協 議 題
5 月13日	幸田公民館における歯科講演会について 5/22、7/10講演会について
5 月22日	5/22講演会について
6 月10日	7/10講演会の役割分担の確認 8 月平日開催の講演会について
7 月 8 日	7/10、9/4、9/29講演会について 1/22会員発表会について
7 月10日	7/10講演会について
8 月 5 日	9/4、9/25講演会について 1/22会員発表会について

社 保 委 員 会

月 日	協 議 題
5 月26日	社保説明会について
6 月30日	新入会員対象の社保説明会について レセプトオンライン化への対応について
7 月 3 日	新入会員対象オリエンテーション報告
7 月21日	電子レセプト請求への対応について

学 校 歯 科 委 員 会

月 日	協 議 題
5 月26日	歯磨き巡回指導の担当の確認 (県) 学校歯科保健推進大会 (市) 学校保健会 理事会 熊本市学校保健会総会 研修会
6 月30日	歯磨き巡回指導(前期) 学校保健会研修会報告 熊本市要保護児童対策地域協議会実務者会議報告 第50回学校保健研究協議会
7 月27日	歯磨き巡回指導前期・報告及び反省会 衛生士会からの報告 第50回学校保健研究協議会 エイズ対策推進会議 健康フェスティバル

総会資料

第1号議案

平成21年度 熊本市歯科医師会一般会計収入支出決算書

収入済額 75,633,387 支出済額 51,735,993 残高 23,897,394

款 項 目	科 目	予算額	累計額	予算との差額	執行率%	備 考
I 事業活動収支の部						
i. 事業活動収入						
1	基本財産運用収入	589,500	95,540	493,960	16%	
1	基本財産運用預金利子収入	589,500	95,540	493,960	16%	
2	会議室料	0	0	0		
2	入会金収入	8,000,000	10,740,000	-2,740,000	134%	
3	会費収入	27,523,000	27,701,302	-178,302	101%	
1	均等割	17,022,000	16,900,000	122,000	99%	月4,500円
2	保険診療負担金	10,500,000	10,621,478	-121,478	101%	保険診療収入の1,000分の1
3	過年度会費	1,000	179,824	-178,824	17982%	前年度未納者
4	事業収入	8,266,000	9,230,437	-964,437	112%	
1	健診料収入	1,271,000	1,930,462	-659,462	152%	熊本市職員健診、フッ素塗布料、妊婦歯科、企業健診料
2	入院入所者事業収入	0	0	0		
3	委託料収入	6,995,000	7,299,975	-304,975	104%	就学時健診料・休日委託料・介護予防委託料
5	補助金等収入	4,070,000	4,090,000	-20,000	100%	
1	県歯より事業助成金	3,470,000	3,440,000	30,000	99%	会員1人あたり10,000円位
2	補助金収入	600,000	650,000	-50,000	108%	
6	雑収入	15,500	59,282	-43,782	382%	
1	預金利子	500	9,152	-8,652	1830%	
2	雑入	15,000	50,130	-35,130	334%	コピー代等
事業活動収入合計 (A)		48,464,000	51,916,561	-3,452,561	107%	
ii. 事業活動支出						
1	事業費支出	35,132,000	30,418,273	4,713,727	87%	
1	委員会支出	15,400,000	12,534,940	2,865,060	81%	
1	学術委員会費	1,573,000	1,358,327	214,673	86%	
2	地域保健委員会費	1,768,000	1,392,756	375,244	79%	
3	社会保険委員会費	1,318,000	1,180,892	137,108	90%	
4	医療管理委員会費	2,049,000	1,689,359	359,641	82%	
5	広報委員会費	2,349,000	2,226,527	122,473	95%	
6	厚生委員会費	3,485,000	2,857,810	627,190	82%	
7	学校歯科委員会費	1,825,000	1,291,204	533,796	71%	
8	各種委員会費	1,033,000	538,065	494,935	52%	医道委員会旅費、臨時委員会
2	医政費	2,280,000	1,311,000	969,000	58%	
3	地域歯科保健活動支出	11,820,000	10,778,183	1,041,817	91%	
1	衛生週間事業費	3,700,000	2,788,633	911,367	75%	
2	地域活動費	8,120,000	7,989,550	130,450	98%	就学時健診・休日診療・介護予防事業他
4	会議費	2,990,000	2,810,000	180,000	94%	理事会・代議員会・対外会議費 他
5	支部分担金	1,074,000	1,071,000	3,000	100%	会員1人3,000円
6	健診事業支出	1,190,000	1,603,962	-413,962	135%	
1	健診料	1,190,000	1,603,962	-413,962	135%	熊本市職員健診、妊婦歯科健診
7	入院入所者事業支出	78,000	9,188	68,812	12%	
1	薬品費	8,000	0	8,000	0%	
2	補修管理費	70,000	9,188	60,812	13%	
8	補助金等支出	300,000	300,000	0	100%	
1	県歯科衛生士会補助金	100,000	100,000	0	100%	
2	県歯熊本市支部補助金	100,000	100,000	0	100%	
3	市歯科技工士会補助金	100,000	100,000	0	100%	

款 項 目	科 目	予算額	累計額	予算との差額	執行率%	備 考
2	管理費支出	22,788,200	20,096,270	2,691,930	88%	
1	渉外費	1,350,000	898,876	451,124	67%	香典代 御樽代等
2	役員報酬	5,443,200	5,443,200	0	100%	役員15名分
3	職員給料	5,050,000	4,825,003	224,997	96%	職員 3 名分
4	職員諸手当	2,670,000	2,565,991	104,009	96%	職員 2 名分
5	厚生費	1,400,000	1,297,660	102,340	93%	事業主保険料等
6	旅費	1,200,000	467,580	732,420	39%	交通費
7	需要費	2,760,000	2,057,816	702,184	75%	郵送費、TEL、FAX料、コピー料他
8	事務所費	420,000	420,000	0	100%	水道光熱費 共益費等
9	備品費	150,000	110,773	39,227	74%	
10	委託費	900,000	760,628	139,372	85%	税理上顧問料等
11	使用料及び賃借料	200,000	130,032	69,968	65%	コンピュータリース料
12	租税公課	30,000	0	30,000	0%	消費税
13	雑費	1,215,000	1,118,711	96,289	92%	封筒印刷 議事録作成費 他
3	繰入金支出	2,900,000	900,000	2,000,000	31%	
1	退職積立金支出	900,000	900,000	0	100%	
1	役員退職金支出	540,000	540,000	0	100%	
2	職員退職金支出	360,000	360,000	0	100%	
2	基本財産繰入金	2,000,000	0	2,000,000	0%	
4	法人税等支出	200,000	133,500	66,500	67%	法人税等
事業活動支出合計 (B)		61,020,200	51,548,043	9,472,157	84%	
事業活動収支差額 (C) A-B		-12,556,200	368,518	-12,924,718	-3%	
II 投資活動収支の部						
i. 投資活動収入						
1	固定資産売却収入		0	0		
投資活動収入合計 (D)		0	0	0		
ii. 投資活動支出						
1	固定資産取得支出		0	0		
投資活動支出合計 (E)		0	0	0		
投資活動収支差額 (F) D-E		0	0	0		
III 財務活動収支の部						
i. 財務活動収入						
1	借入金	1,000	0	1,000		
財務活動収入合計 (G)		1,000	0	1,000		
ii. 財務活動支出						
1	借入金返済	1,000	0	1,000		
財務活動支出合計 (H)		1,000	0	1,000		
財務活動収支差額 (I) G-H		0	0	0		
IV 予備費支出 (J)		2,443,800	187,950	2,255,850	8%	
当期収支差額 (K) C+F+I-J		-15,000,000	180,568	-15,180,568		
前期繰越収支差額 (L)		15,000,000	23,716,826	-8,716,826		
次期繰越収支差額 (M) K+L		0	23,897,394	-23,897,394		

第2号議案

平成21年度 熊本市歯科医師会収益事業会計収入支出決算書

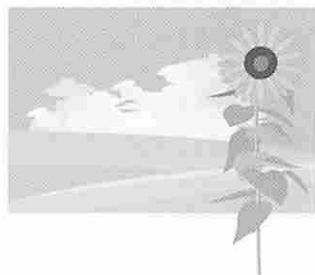
収入済額 311,980 支出済額 111,300 残高 200,680

収入の部

款 項	科 目	予 算 額	収入済額	予算との差額	執行率%	備 考
1	雑収入	20,000	24,000	-4,000	120%	
1	機械使用料	20,000	24,000	-4,000	120%	入院者機械代
2	雑収入	31,268	259,155	-227,887	829%	
1	会議室料	15,000	244,000	-229,000	1627%	
2	雑入	16,268	15,155	1,113	93%	利息・入れ歯手帳代等
3	前年度繰越金	28,732	28,825	-93	100%	
合 計		80,000	311,980	-231,980	390%	

支出の部

款 項	科 目	予 算 額	支出済額	予算との差額	執行率%	備 考
1	管理費支出	40,000	6,100	33,900		
1	寄付金	10,000	6,100	3,900	61%	ユニセフへ
2	利益金	0	0	0		
3	雑費	30,000	0	30,000	0%	
4	租税公課	0	0	0		
2	法人税等支出	20,000	105,200	-85,200	526%	法人税等
3	次期繰越金	20,000		20,000	0%	
合 計		80,000	111,300	-31,300	139%	



第3号議案

平成21年度 熊本市歯科医師弔慰金制度会計収入支出決算書

総計 収入済額 33,828,149 支出済額 33,777,230 残高 50,919

【旧共済会制度分】

収入済額 32,178,980 支出済額 32,178,980 残高 0

款 項 目	科 目	予算額	累計額	予算との差額	執行率%	備 考
収入の部						
1	負担金収入	0	0	0		
1	初回金	0	0	0		
2	負担金	0	0	0		
2	雑収入	0	0	0		
3	前年度繰越金	33,000,000	32,178,980	821,020	98%	
	合 計	33,000,000	32,178,980	821,020	98%	
支出の部						
1	事業費	32,991,000	32,178,980	812,020	98%	
1	給付	32,991,000	32,178,980	812,020	98%	
1	傷病見舞金	200,000	120,000	80,000	60%	6名(前年度精算分)
2	香典	0	0	0		
3	災害・見舞給付	0	0	0		
4	生前給付	32,791,000	32,058,980	732,020	98%	300名
2	供花費	0	0	0		
2	管理費	9,000	0	9,000	0%	
1	通信費	9,000	0	9,000	0%	
2	雑費	0	0	0		
3	予備費	0	0	0		
	合 計	33,000,000	32,178,980	821,020	98%	

【新弔慰金制度分】

収入済額 1,649,169 支出済額 1,598,250 残高 50,919

款 項 目	科 目	予算額	累計額	予算との差額	執行率%	備 考
収入の部						
1	負担金収入	2,602,500	1,623,000	979,500	62%	
1	初回金	0	0	0		
2	負担金	2,602,500	1,623,000	979,500	62%	
2	雑収入	0	26,169	-26,169		預金利子
3	前年度繰越金	0	0	0		
	合 計	2,602,500	1,649,169	953,331	63%	
支出の部						
1	事業費	2,580,000	1,598,250	981,750	62%	
1	給付	2,380,000	1,488,000	892,000	63%	
1	傷病見舞金	0	0	0		
2	香典	2,380,000	1,488,000	892,000	63%	3名
3	災害・見舞給付	0	0	0		
4	生前給付	0	0	0		
2	供花費	200,000	110,250	89,750	55%	生花代(会員2名・家族3名)
2	管理費	11,000	0	11,000	0%	
1	通信費	1,000	0	1,000	0%	
2	雑費	10,000	0	10,000	0%	
3	予備費	11,500	0	11,500	0%	
	合 計	2,602,500	1,598,250	1,004,250	61%	

第4号議案

平成21年度 熊本市歯科医師会役職員退職積立金会計収入支出決算書
(役員)

収入済額 585,000 支出済額 0 残高 585,000

収入の部

款項	科目	予算額	収入済額	予算との差額	執行率%	備考
1	役員退職積立金	540,000	540,000	0	100%	15名分
2	前年度繰越金	45,000	45,000	0	100%	
合 計		585,000	585,000	0	100%	

支出の部

款項	科目	予算額	支出済額	予算との差額	執行率%	備考
1	役員退職金	0	0	0		
2	次期繰越金	58,500	0	58,500	0%	
合 計		58,500	0	58,500	0%	

(職員)

収入済額 2,835,784 支出済額 707,280 残高 2,128,504

収入の部

款項	科目	予算額	収入済額	予算との差額	執行率%	備考
1	職員退職積立金	360,000	360,000	0	100%	2名分
2	預金利子	2,000	7,599	-5,599	380%	
3	助成金収入	0	61,920	-61,920		
1	中退共掛金助成金	0	61,920	-61,920		
4	前年度繰越金	2,295,442	2,406,265	-110,823	105%	
合 計		2,657,442	2,835,784	-178,342	107%	

支出の部

款項	科目	予算額	支出済額	予算との差額	執行率%	備考
1	職員退職金	707,280	707,280	0		中小企業退職金へ
2	次期繰越金	1,950,162	0	1,950,162	0%	
合 計		2,657,442	707,280	1,950,162	27%	

第5号議案

平成21年度特別会計熊本市歯科医師会新規2事業会計収入収支決算書

収入済額 175,000,000 支出済額 175,000,000 残高 0

収入の部

款項	科目	予算額	収入済額	予算との差額	執行率%	備考
1	繰入金収入	175,000,000	175,000,000	0	100%	
1	繰入金	175,000,000	175,000,000	0	100%	基本財産より繰入
	合 計	175,000,000	175,000,000	0	100%	

支出の部

款項	科目	予算額	支出済額	予算との差額	執行率%	備考
1	事業費支出	175,000,000	143,026,275	31,973,725	82%	
1	レセプトオンライン化	87,500,000	87,500,000	0	100%	
2	インターネットファックス	87,500,000	55,526,275	31,973,725	63%	
2	基本財産繰戻	0	31,973,725	-31,973,725		基本財産へ
	合 計	175,000,000	175,000,000	0	100%	

監 査 報 告 書

平成21年度決算（H22. 3. 31現在）の監査を施行し、会計財産に関しては帳簿伝票、その他証拠書類の記帳、作成、整理、管理等立派に行われており、また、事業及び業務に関しては、定款並びに定款施行規則に則り、正しく運営されている事を報告致します。

平成22年 6 月15日

監事 合澤 康生 

監事 與儀 実彦 

編 集 後 記

阿蘇から鹿児島鬼界ヶ島にかけて霧島火山帯上を大きなカルデラが5つ並んでいます。北から阿蘇、加久藤、始良、阿多、鬼界カルデラです。その中でも阿蘇は、地図や衛星写真ではっきりとその偉容が実感できる周囲128キロにおよぶ巨大カルデラです。中岳は現在の活動の中心である中央火口丘を有しています。というわけで本号は「中岳」第150号です。とてもいいネーミングだと思います。第1号は1969年（昭和44年）7月に「熊本市歯科医師会誌」として創刊され、1989年（平成元年）、中根俊吾会長の時に「中岳」と改称され現在に至っています。タイトル字は代々時の会長直筆のものが使われています。

150号記念記事として平成10年の100号から現在までの会の歩みをふり返ってみました。さらに関元会長はじめ4名の先生方にコメントをいただきました。ありがとうございました。

(K M)

熊本市歯科医師会会誌

第 150 号

発行日 平成22年9月15日発行

発行所 社団法人熊本市歯科医師会

熊本市坪井2丁目4番15号

<http://www2s.biglobe.ne.jp/~kdc8020/>

mail:kda8020@msg.biglobe.ne.jp

TEL (343) 6669

FAX (344) 9778

発行
責任者

清 村 正 弥

印刷所 コロニー印刷

熊本市二本木3丁目12-37

TEL 096-353-1291 FAX 096-353-1294